HITACHI

取扱説明書

保証書別添付

日立エコキュート
家庭用ヒートポンプ給湯機

給湯専用

システム型式 BHP-ZN46YU（ビーエッチピーゼットエヌワイユー）
BHP-ZN37YU（ビーエッチピーゼットエヌワイユー）

システム型式は、貯湯ユニットとヒートポンプユニットのセット型式です。
各ユニットの型式は本体銘板 →P.3 と本書の「仕様」→P.65 でご確認ください。



このたびは家庭用ヒートポンプ給湯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。**この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。**
お読みになったあとは、保証書・カンタンご使用ガイド・工事説明書、無線LAN機能接続ガイド、製造番号表とともに大切に保管してください。

「安全上のご注意」→ P.5～9 をお読みいただき、正しくお使いください。

日立家電メンバーズクラブの
My家電への製品登録をおすすめします

さまざまなサービスをご利用いただけます。

- ▶ 家電品の登録・管理
- ▶ お役立ち情報
- ▶ 安全点検サービス料金割引
- ▶ パーツショップ送料特典
- ▶ お知らせ

登録は
こちら

詳しくは →P.66

ご注意

この給湯機は時間帯別電灯契約、または季節別時間帯別電灯契約専用です。これらの契約は、時間帯により、電気料金が異なります。リモコンの時刻がずれていると電気料金が高くなることもあるため、リモコンの時刻が正しく設定されているか確認してください。



BB0065239A

もくじ

ご使用のまえに

エコキュートのしくみ …… **2**
お湯を沸かし、タンクにため、設定温度のお湯を作るしくみ …… 2
お湯を沸かす電気料金を節約するしくみ …… 2
エコキュートの構成と各部の名前、はたらき …… **3**
ヒートポンプユニット/貯湯ユニット（タンク）/リモコン …… 3
配管（例）/配線（例） …… 4
安全上のご注意 …… **5**
使用上のお願いとお知らせ …… **10**
リモコンの操作ボタンと表示画面 …… **11**
台所リモコンの操作ボタンのはたらき …… 11
表示画面（台所リモコン） …… 11
表示画面の内容（例） …… 11
表示画面の見やすさ調整（コントラストレベル設定） …… 12
操作ボタンの種類と基本動作 …… 13
機能を運転する運転ボタン/機能を設定するボタン … 13
給湯機の設定メニューを表示するボタン …… 14
給湯機の設定メニューを設定するボタン（設定の操作手順） … 15
タンク残湯量目盛表示の見かた …… 16
目盛表示と使えるお湯の量の目安 …… 16

使いかた

エコキュートの上手な使いかたポイント …… **17**
上手にお湯を沸き上げる …… 17
上手に機能を使い、上手にお湯を使う …… 18
はじめてご使用のときの確認と設定 …… **19**
給湯機とリモコンの確認 …… 19
給湯機・リモコンに必要な項目の一括設定 …… 20
混合水栓（蛇口）の種類と正しい使いかた … **21**
「給湯」を使う …… **22**
台所や洗面所などの蛇口からお湯を使う …… 22
「ふろ」を使う …… **23**
準備から湯はりまでの操作・運転流れ …… 23
「湯はり温度」「湯はり湯量」の確認・設定のしかた … 23
「湯量お知らせ」運転の操作と運転内容 …… 24
入浴のしかた …… 25
「節約サポート」機能の使いかた …… **26**
使用湯量目安/残湯量目安 …… 27
シャワーアラーム …… 28
おすすめ設定 …… 30
「タンク沸き増し」のしかた …… **31**
「タンク沸き増し」運転のしかた …… 31
「不在時沸き上げ停止」予約のしかた …… **32**
「来客時満タン沸き上げ」予約のしかた …… **33**
給湯機の運転停止と再運転のしかた …… **35**
運転停止のしかた …… 35
再運転のしかた …… 36
タンクのお湯（水）の非常時使用のしかた … **38**
停電したときの使いかた …… **39**
停電中/停電復帰時 …… 39
断水したときの使いかた …… **39**
断水中/断水復帰時 …… 39
凍結防止のしかた …… **40**
給水配管、給湯配管の凍結防止策 …… 40
配管全体の凍結防止策 …… 40

お手入れと確認・点検

お手入れと確認・点検 …… **41**
リモコン/時刻表示/漏電遮断器/配管全体 …… 41
逃し弁/タンク …… 42

給湯機の設定

給湯機の設定 …… **43**
現在年月日・現在時刻の設定 …… 43
時間帯別電灯契約の「契約番号」の設定 …… 44
時間帯区分の「マニュアル」設定 …… 46
沸き上げ禁止設定 …… 49
タンクに自動的に沸き上げるお湯の量の設定 … 50
沸き上げ設定 …… 50
湯切れ防止/節約設定 …… 51
「太陽光発電利用」機能の使いかた …… 52
音声案内の設定 …… 55
音声ガイド設定/ガイド・操作音量設定 …… 55
湯はり完了音の設定 …… 56
バックライト点灯時間の設定 …… 56
工場出荷時設定 …… 57
液晶表示画面の設定 …… 58

お困りのときは

お困りのときは …… **59**
リモコンにこんな表示が表示されたときは …… 59
点検表示の解除（標準画面に戻す）のしかた … 59
お問い合わせ項目もくじ …… 60
こんなときには、修理を依頼される前に確認を … 61
貯湯ユニット（タンク） …… 61
ヒートポンプユニット …… 61
給湯 …… 62
ふろ …… 63
リモコン …… 63
太陽光発電利用 …… 64
無線LAN …… 64
仕様 …… **65**
保証とアフターサービス …… **66**
保証書（添付）・保証期間 …… 66
補修用性能部品の保有期間 …… 66
製品のご相談や修理はお買い上げの販売店へ … 66
修理を依頼されるときは（出張修理） …… 66
弊社の連絡先電話番号 …… 66
定期点検契約（有料）のおすすめ …… 67
日立家電メンバーズクラブのご案内 …… **68**
用語集 …… **裏表紙**

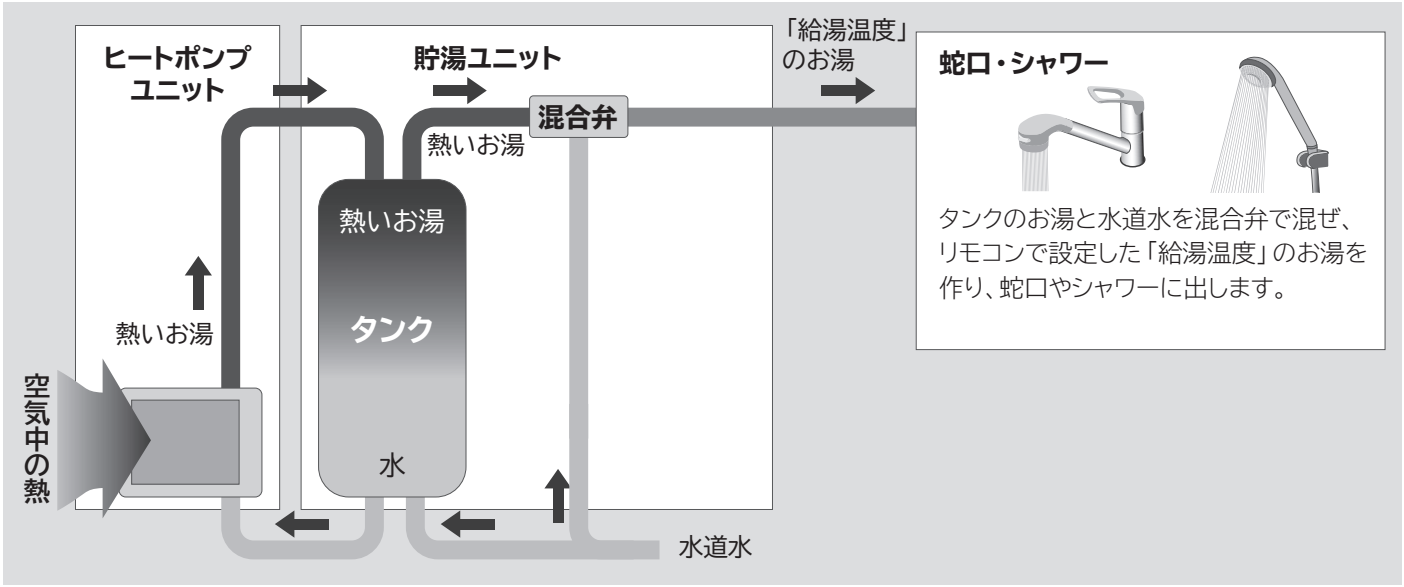
エコキュートのしくみ

●エコキュートは、空気中の熱を利用してお湯を沸かす（ヒートポンプ式）給湯システムです。電気エネルギーを約3倍の熱エネルギーに変え、効率よくお湯を沸かします。

■お湯を沸かし、タンクにため、設定温度のお湯を作るしくみ

●ヒートポンプユニットで空気中の熱を集め、この熱で貯湯ユニットのタンクからの水を加熱し、お湯に沸き上げ、タンクに戻し、ためます。タンクのお湯と水道水を使い「給湯温度」「湯はり温度」のお湯を作ります。

●タンクのお湯は、浴そうの湯はりや蛇口、シャワーなどで使った分だけ減りますが、減った分だけ水道水が給水されるため、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。



■お湯を沸かす電気料金を節約するしくみ

●この給湯機は、深夜時間帯の電気料金が割安になる時間帯別電灯契約、または季節別時間帯別電灯契約で契約されています。お湯を沸かしタンクにためることを、自動で主に深夜時間帯に行うことで、電気料金を節約します。

●深夜時間帯は、各契約内容によって異なりますので、契約内容を確認の上、ご使用ください。 →P.45

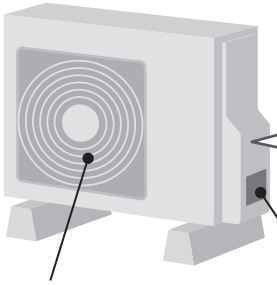
ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

エコキュートの構成と各部の名前、はたらき

●エコキュートは、お湯を沸かす「ヒートポンプユニット」、沸かしたお湯をためる「貯湯ユニット」、運転内容を設定する「台所リモコン」で構成されています。

ヒートポンプユニット

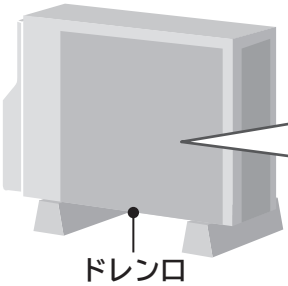
ヒートポンプユニット前面



配管・配線カバー
カバー内で、貯湯ユニットと配管・配線を接続します。

空気吹出口（ファン内蔵）　型式、製造番号表示

ヒートポンプユニット裏面



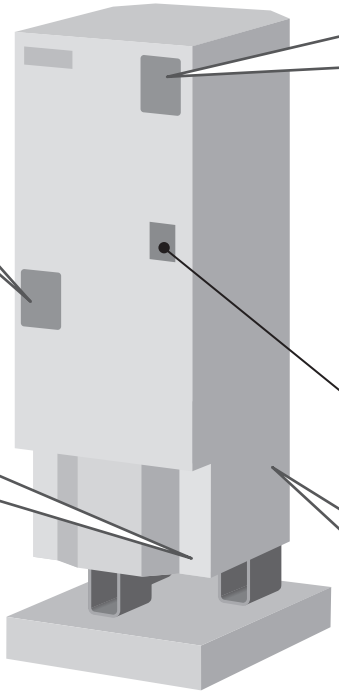
空気吸込口
蒸発器(アルミ部分)で空気中の熱を集めます。

ドレン口

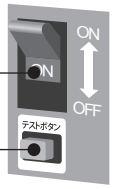
運転中はドレン口から水が出ることがあります。（故障ではありません）
本体付属のドレンニップルをドレン口に接続し、排水管を接続してください。

貯湯ユニット（タンク）

貯湯ユニット（タンク）



漏電遮断器（操作カバー付）
万一の漏電時は、感電を防ぐため、自動的に電源を「OFF」にします。



スイッチ
電源の「ON」「OFF」をします。

テストボタン
漏電遮断器の動作を確認します。

※漏電遮断器の操作をする時は、操作カバーのネジをゆるめてカバーを開けてください。
操作終了後はカバーを閉じてください。

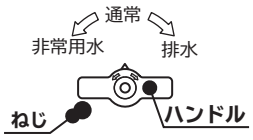
逃し弁（操作カバー付）
タンク内の圧力上昇を防ぐため膨張水を逃します。



※逃し弁の操作をする時は、操作カバーのネジをゆるめてカバーを開けてください。
操作終了後はカバーを閉じてください。

型式、製造番号表示

タンク排水栓
タンク内のお湯（水）を排水、または非常用生活用水として出します。



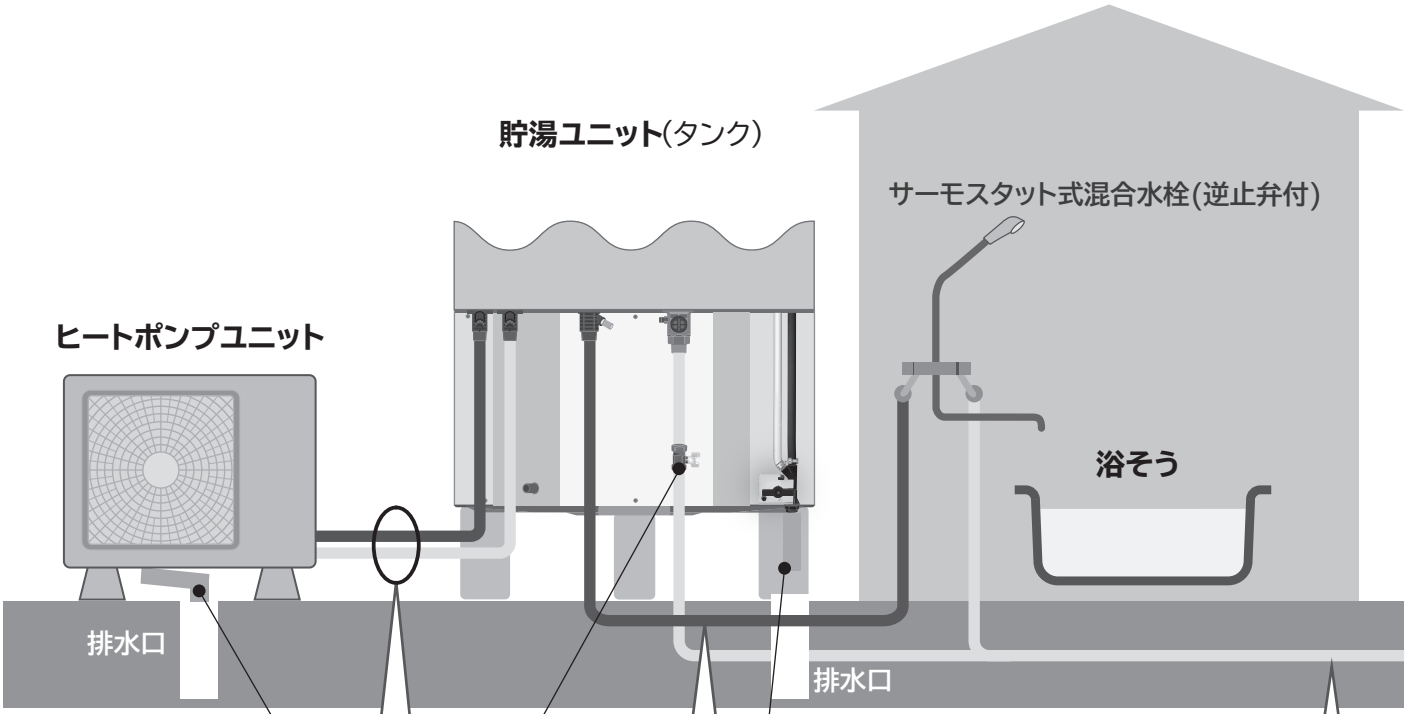
タンク（内蔵）
ヒートポンプユニットで沸き上げたお湯をためます。
ためたお湯で、給湯や湯はりなどのお湯を作り、混合水栓や浴そうに出します。

リモコン

台所リモコン



配管（例）



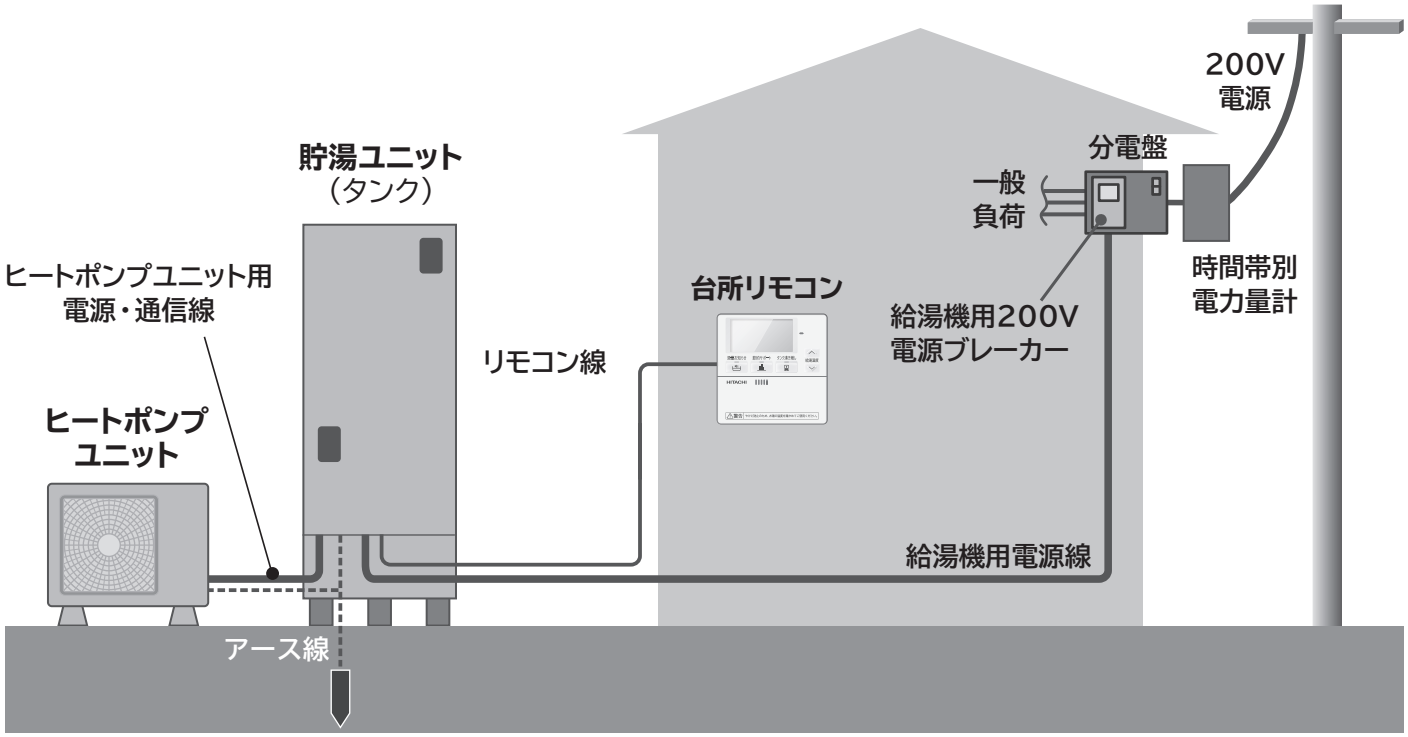
沸き上げ配管
タンクの水をヒートポンプユニットでお湯に沸き上げてタンクに戻す配管です。

給湯配管
設定温度のお湯を、各所の混合水栓へ給湯する配管です。

給水配管
水道配管です。

※タンク専用止水栓は、工事業者によって取り付けられますので、取り付け位置や形状はお客さまごとに異なります。
確認できない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

配線（例）



安全上のご注意

人身への危害、財産への損害を未然に防ぐためにお守りいただくことを、次のように区分して説明しています。
本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

●誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分して説明しています。

危害や損害とその程度の区分	
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「重傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
⃠	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	実行していただく「指示」内容のものです。

据付けの確認

⚠警告

ヒートポンプユニットは屋内に設置しない

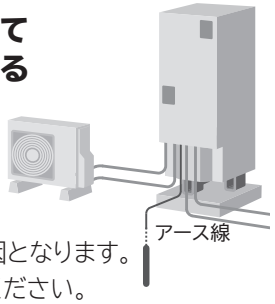
禁止



●万一冷媒（CO2）が漏れると、酸欠により死亡、または重傷事故（脳機能障害等）に至ることがあります。

アース工事がされていることを確認する

アース工事



●故障や漏電のときに感電の原因となります。販売店または工事店にご確認ください。

ヒートポンプユニットや貯湯ユニットの近くに、ガス類や引火物を置かない

禁止



●発火の原因になります。

シャワー水栓は必ずサーモスタット付混合水栓を使用する

確認

●サーモスタット混合水栓を使用しないと、やけどの原因となります。

⚠注意

ヒートポンプユニットの下に濡れて困るものを置かない

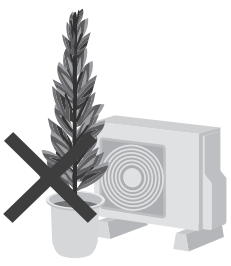
禁止

●水滴が滴下する場合があり、汚損や故障の原因になることがあります。

ヒートポンプユニットの周囲にはものを置いたり、落ち葉などがたまらないようにする

確認

●虫などが侵入し、発火、発煙または故障の原因になることがあります。



据付けの確認（つづき）

⚠注意

禁止

水質基準に適合した水を使用し、井戸水、地下水、温泉水は使用しない

●腐食による水漏れや配管詰まりによる機器の故障の原因となることがあります。

禁止

動植物に直接風をあてない

●動植物に悪影響を及ぼす原因となることがあります。

確認

各ユニットがアンカーボルトなどで固定されていることを確認する

貯湯ユニット・・・・・・・・・・脚3か所
上部固定金具（別売品）1か所
（2階以上に設置する場合は天部も固定されているか確認する）

ヒートポンプユニット・・・脚4か所

●地震などにより転倒して、けがをすることがあります。

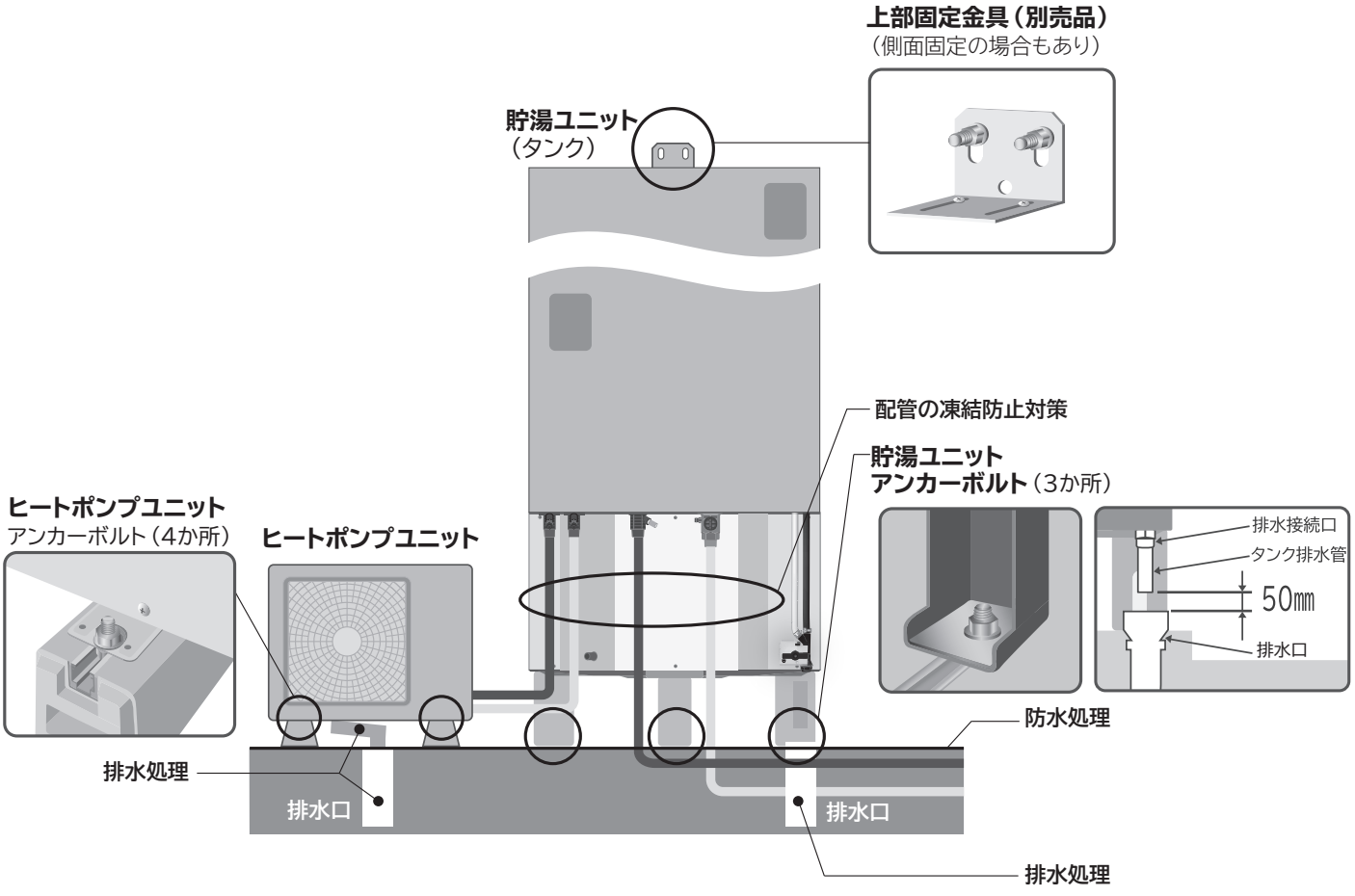
設置床面が防水処理・排水処理されていることを確認する

●水漏れが起きたときに、大きな損害につながる原因となります。

凍結防止対策がされていることを確認する →P.40

●正しく工事されていないと配管が破損して水漏れややけどの原因になることがあります。

ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にご確認ください。



安全上のご注意（つづき）

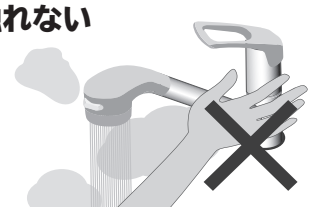
給湯機の使用

⚠警告

■給湯は

禁止

混合水栓のレバーやハンドル以外の部分に手を触れない



●やけどの原因となります。

お湯の使い始めは、しばらくお湯に触れない

●空気の混じった熱いお湯が飛び散り、やけどの原因となります。
特に朝の使い始めは、ご注意ください。

確認

お湯の温度を指先などで確認してから使用する

●シャワー使用時に、指先などで湯温を確かめないとやけどの原因となります。



確認

お湯を出し始める時は、必ず水を出しながらお湯を出す →P.21

●お湯だけ出すと、熱いお湯でやけどしたり、洗面器などが破損する原因となります。

お湯の使用後は必ずお湯側から閉める

●水側を先に閉めると、再使用時に熱いお湯が出て、やけどの原因となります。 →P.21

給湯温度を変更するときは、ほかの場所で給湯していないことを確認してから行う

●やけどの原因となります。

停電中および復帰後にお湯を使うときは、湯温を確かめる →P.39

●温度調整ができずに熱いお湯が出て、やけどの原因となります。

■入浴は

確認

浴そうのお湯の温度を指先などで確認してから入浴する



●入浴時に指先などで湯温を確かめないと、やけどの原因となります。

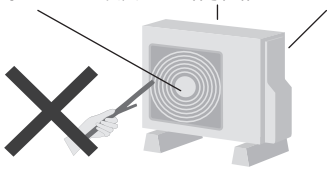
給湯機の使用（つづき）

⚠警告

■ヒートポンプユニット、貯湯ユニット、配管などは

禁止

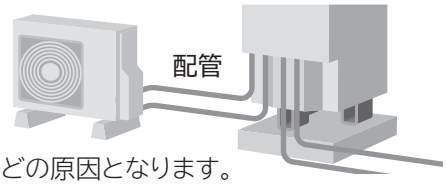
ヒートポンプユニットの空気吸込口（アルミフィン）や吹出口は、触ったり隙間に指や棒などを入れない



●内部でファンが回転していることがあるため、けがの原因となります。
●アルミフィンにさわると、けがの原因になることがあります。

禁止

ヒートポンプユニットの配管に手を触れない



●やけどの原因となります。

排水するタンクのお湯には手を触れない

●やけどの原因となります。

逃し弁点検時は排水するタンクのお湯には手を触れない

●やけどの原因となります。

■漏電遮断器は

確認

月に 1 度は動作確認をする →P.41



●故障のまま使用すると、感電や火災の原因となります。

動作確認後は、操作カバーを閉じる

●開けたままにして、雨やごみが入ると漏電や火災の原因になることがあります。

お手入れや点検時は、漏電遮断器を「OFF」にする

●内部でファンが回転していることがあるため、けがの原因となります。

漏電遮断器は濡れた手で操作しない

●感電の原因となります。

■異常時は

異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にし、販売店または工事店に連絡する



●異常のまま使用すると、火災・感電・やけどの原因となります。

■逃し弁は

確認

年に2・3度は点検をする →P.42



●異常のまま使用すると、タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れの原因になることがあります。

点検後は、操作カバーを閉じる

●開けたままにして、雨やごみが入ると漏電や火災の原因になることがあります。

■修理などは

禁止

分解・修理・改造・移設しない



●不備があると火災、感電、水漏れの原因となります。お買い上げの販売店または工事店に依頼してください。

貯湯ユニットの前パネルやヒートポンプユニットの電源カバーを開けない

●感電の原因となります。

■その他

確認

非常用生活用水使用時は、湯温を確かめて熱に強い容器を使用する →P.38

●熱いお湯（最高90℃）がでます。やけどにご注意ください。ガラス容器などは熱により割れることがあります。

安全上のご注意（つづき）

給湯機の使用（つづき）

⚠注意

■給湯は

禁止

混合水栓からのお湯は、そのまま飲用しない

●長期間のご使用よって、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって、水質が変わることがあります。飲用される場合は、以下の点に注意し、必ず一度沸騰させてからにしください。

・必ず水質基準に適合した水を使う。
・熱いお湯が出てくるまでの水（配管内にたまっていた水）は雑用水として使用する。

お湯に固形物や変色、濁り、異臭がある場合には、飲用には使用せず、直ちにお買い上げの販売店または工事店に点検を依頼してください。

■ヒートポンプユニット、貯湯ユニット、配管は

禁止

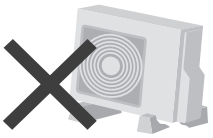
ユニットに乗ったり、物を載せたり、配管に力を加えない



●落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

禁止

ヒートポンプユニットの据付台が、傷んだ状態のまま使用しない



●ヒートポンプユニットの落下や転倒につながり、けがの原因になることがあります。

確認

1か月以上使用しないときは、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にして、貯湯ユニット、ヒートポンプユニット、配管のお湯（水）を抜く →P.35

●長期間使用しないと水質が変化し、飲用すると健康を害する原因になることがあります。

確認

冬季、漏電遮断器のスイッチを「OFF」にするときは、貯湯ユニット、ヒートポンプユニット、配管のお湯（水）を抜く →P.35

●満水のまま漏電遮断器を「OFF」にすると、配管が凍結し水漏れや故障の原因になることがあります。

■その他

禁止

高圧洗浄機などで水洗いしたり、花瓶などの水が入った容器を載せたりしない

●漏電による火災や感電の原因になることがあります。

禁止

タンク内の熱いお湯を直接排水しない

●やけどや排水管の破損の原因になることがあります。

使用上のお願いとお知らせ

時間帯別電灯契約または季節別時間帯別電灯契約の契約内容を確認する

●契約内容によって、電気料金が割安になる深夜時間帯が異なります。→P.45

ご不明の場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

湯はりをするときは、排水栓をしっかり閉める

→P.23

●排水栓の閉め忘れは、お湯が無駄になります。



深夜時間帯でのお湯の多量使用は控える

●深夜時間帯にお湯を多量に使うと、昼間時間帯でのお湯の沸き上げが増え、電気料金が割高になります。

落雷により機器が誤動作するときは漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする

●直ちにお買い上げの販売店または工事店に点検を依頼してください。

リモコンの時刻表示が、現在時刻になっているかを月に 1 度は確認し、ずれているときは現在時刻にする →P.43

●現在時刻になっていないと、電気料金が割高になる場合があります。



蛇口やシャワーのお湯は、こまめに止める



洗っているときは止めましょう

●流しっぱなしは、タンクのお湯を多く使い、昼間時間帯でのお湯の沸き上げが増え、電気料金が割高になります。

お知らせ

停電中は、「給湯」機能が使用できません。 →P.39

●タンクにお湯があっても、水しか出ません。

給湯中に給湯流量を変えたり、水道の圧力が変動すると、お湯の温度が変わることがあります。

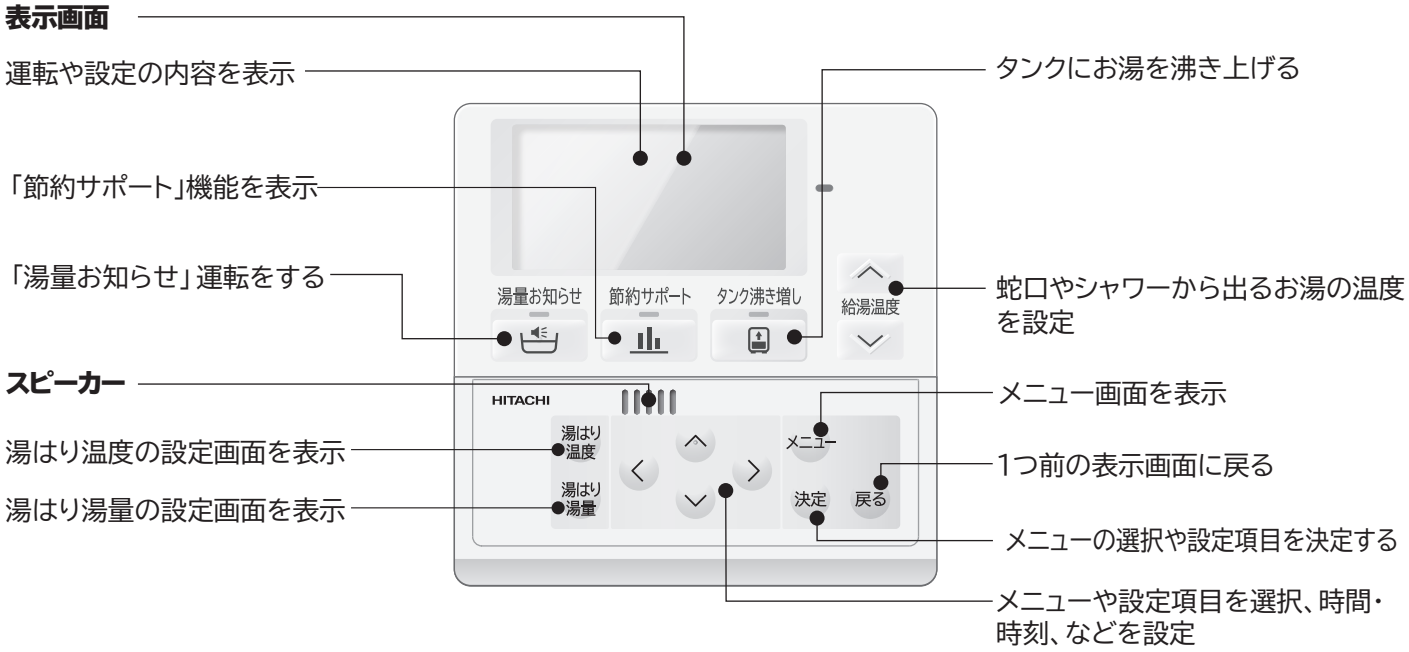
湯量お知らせ中は、給湯温度が「湯はり温度」に変わります。 →P.24

●他の人がお湯を使っていないか確認してから運転を行ってください。

湯量お知らせ中に、浴そう以外の混合水栓（蛇口）でお湯を使用すると、浴そうに湯はりできる湯量は、浴そう以外で使用した分だけ少なくなります。 →P.24

リモコンの操作ボタンと表示画面

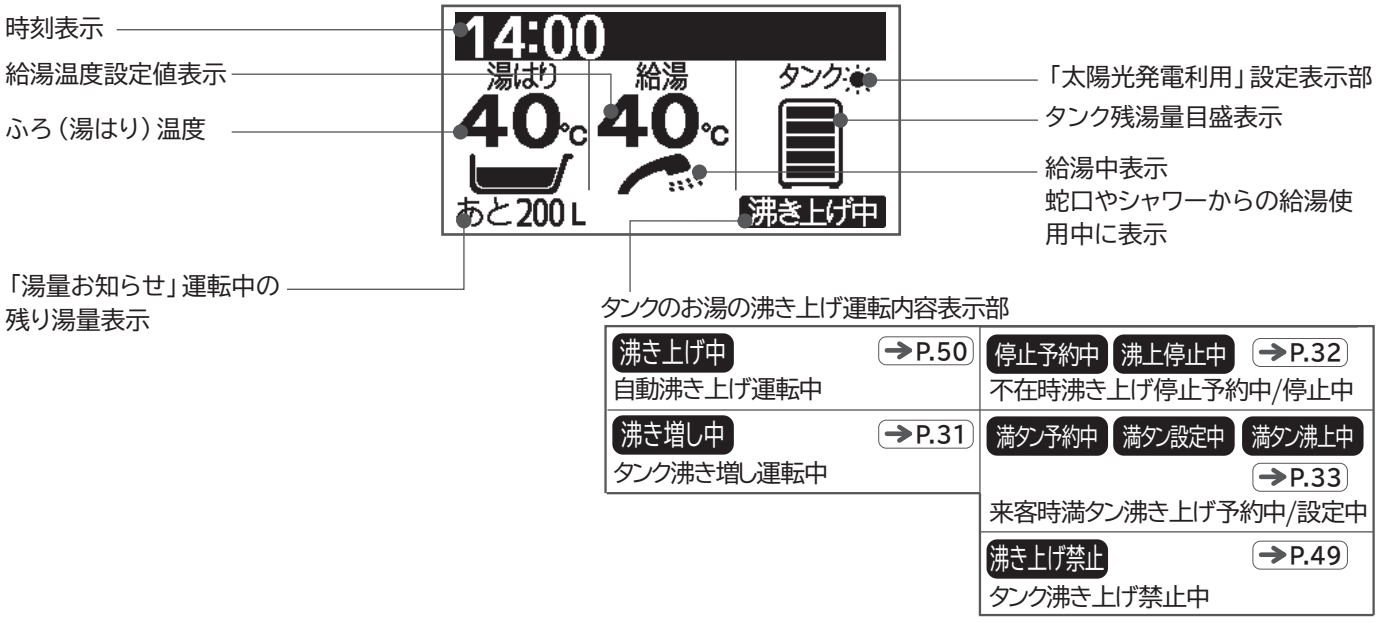
台所リモコンの操作ボタンのはたらき



表示画面（台所リモコン）

■表示画面の内容（例）

●この表示画面は工場出荷時設定を基にした標準画面例です。表示内容は、設定や運転内容により変わります。



タンクのお湯の沸き上げ運転内容表示部

沸き上げ中 →P.50 自動沸き上げ運転中	停止予約中 沸上停止中 →P.32 不在時沸き上げ停止予約中/停止中
沸き増し中 →P.31 タンク沸き増し運転中	満タン予約中 満タン設定中 満タン沸上中 →P.33 来客時満タン沸き上げ予約中/設定中
	沸き上げ禁止 →P.49 タンク沸き上げ禁止中

お知らせ

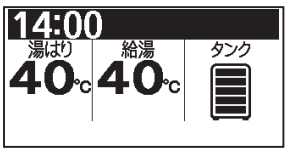
- ●表示画面のバックライトは、約1分以上ボタン操作をしないと、節電のため自動的に消灯します。いずれかのボタンを押すと 再点灯します。バックライトだけを点灯させたいときは「戻る」ボタンを押してください。
- ●バックライトの点灯時間は変更することが出来ます。→P.56
- ●表示画面の濃さ（コントラスト）は変更することが出来ます。→P.12
- ●時刻表示の「:」は、バックライト点灯時は1秒間隔で点滅しますが、バックライト消灯時は点灯に変わります。

表示画面の見やすさ調整（コントラストレベル設定）

●表示画面の見やすさは、リモコン設置場所の明るさや温度などによって変わります。見にくい場合は、コントラストレベルの設定を変更してください。

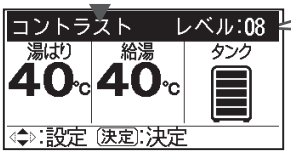
準備 リモコンの扉を開ける

1 戻る を3秒以上長押し、コントラスト画面にする



「コントラスト」設定画面になります

2 ∧ ∨ を押し、レベルを設定する





レベル1～レベル16まで、16段階で設定ができます。

3 決定 を押す

設定が完了し、標準画面に戻ります



お知らせ

「コントラスト」設定画面で、10秒間何も操作しない場合は設定を反映して、自動で標準画面に戻ります。

リモコンの操作ボタンと表示画面（つづき）

操作ボタンの種類と基本動作

■機能を運転する運転ボタン

●このボタンは、1回押すと機能を運転し、運転中に押すと、運転を中止します。



■機能を設定するボタン

●このボタンは、1回押すと設定値が反転表示になり、設定値が変更できます。変更後約3秒間放置するか「決定」ボタンを押すと反転表示が戻り、設定が完了します。
※このボタンで設定した内容は記憶されます。

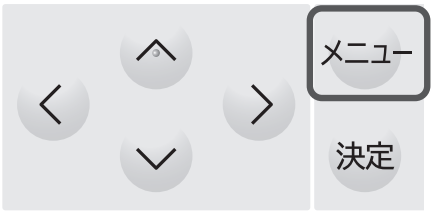


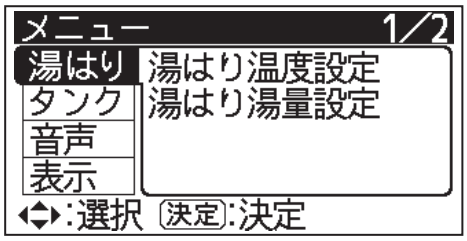
●このボタンは、メニュー機能を設定するボタンです。「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を表示させ、設定したい機能を▲▼◀▶で選択し、設定します。「決定」ボタンを押すと設定が完了します。
※このボタンで設定した内容は記憶されます。
（記憶されない内容もあります）



■給湯機の設定メニューを表示するボタン

●「メニュー」ボタンを押すとメニュー画面が表示されます。メニュー画面には、下表のメニュー項目があります。





メニュー項目		機能内容	参照ページ
湯はり	湯はり温度設定	湯はりの温度を設定します。	→P.23
	湯はり湯量設定	湯はりの湯量を設定します。	→P.23
タンク	沸き上げ設定	沸き上げるお湯の量を設定します。	→P.50
	湯切れ防止/節約設定	湯切れ防止：昼間時間帯にタンクのお湯が減ると、自動的に沸き上げるお湯の量を設定します。 節約設定　：湯切れ防止を運転させない時間帯を設定します。	→P.51
	不在/来客設定	不在時沸き上げ停止：お出かけの時など、不在時に給湯機の使用を休止する期間を予約します。 来客時満タン沸き上げ：来客時など、お湯の使用量を増加する期間を予約します。	→P.32 →P.33
	太陽光発電利用設定	太陽光発電利用機能の設定をします。	→P.52
音声	音声ガイド設定	音声ガイド機能の設定をします。	→P.55
	ガイド・操作音量設定	音声ガイド、操作音量の設定をします。	→P.55
	湯はり完了音設定	湯はり完了音の設定をします。	→P.56
表示	日付/時刻設定	日付や時刻の設定をします。	→P.43
	バックライト設定	バックライトの点灯するタイミングと、点灯時間を設定します。	→P.56
	液晶設定	液晶の表示方法を設定します。	→P.58
運転	HPエア抜き	ヒートポンプユニットのエア抜き運転をします。	→P.36
お知らせ	―	―	―
システム	電力契約設定	電力契約の契約番号を設定します。	→P.44
	出荷時設定	各設定を工場出荷時の初期状態に戻します。	→P.57
その他	一括設定	給湯機を使用するにあたって必要な項目を一括設定します。	→P.20

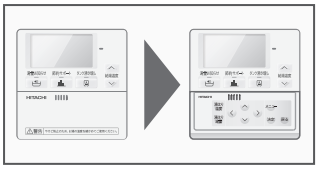
リモコンの操作ボタンと表示画面（つづき）

■給湯機の設定メニューを設定するボタン（設定の操作手順）

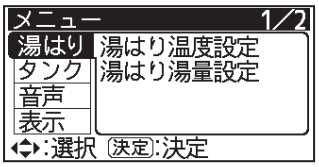
●設定操作手順を、「リモコン」の「バックライト設定」を例に説明します。

準備

1 リモコンの扉を開ける



2 メニュー を押し、「メニュー」画面を表示させる



1

を押し、「表示」の「バックライト設定」を選択し

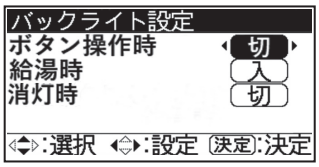


決定 を押す

バックライト設定画面になります

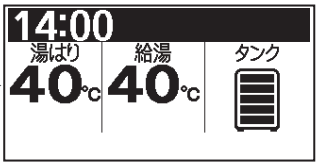
2

を押し、バックライトの「点灯するタイミング」と「点灯時間」を選択し



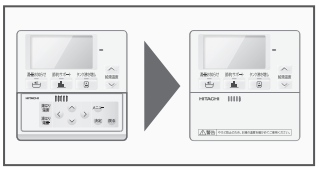
決定 を押す

設定完了



3

リモコンの扉を閉める



お知らせ

これ以降の操作手順説明では「リモコンの扉を閉める」の手順は省略します。

ご注意

扉を開閉するときは、リモコン本体と扉の隙間に指を挟まないようにご注意ください。
特に子どもには十分ご注意ください。

お知らせ

操作手順 **2** の「決定」ボタンを押す前までは、

戻る を押すと、1つ前の画面に戻ります

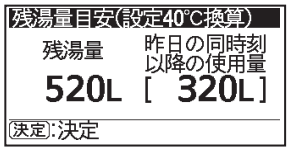
メニュー を押すと、標準画面に戻ります

タンク残湯量目盛表示の見かた

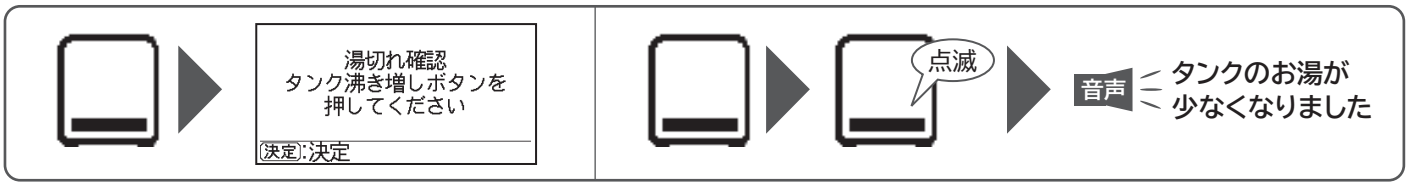
●残湯量目盛は、タンク内にある45℃以上のお湯の量の目安です。給湯や湯はりなどをするときは、残湯量目盛を確認してください。目盛が足りないときは「タンク沸き増し」ボタンを押して、目盛を増やしてからご使用ください。→P.31



●実際に蛇口やシャワー、湯はりなどに使えるお湯の量は、タンクのお湯と水道水を混合するため、タンク内のお湯の量と異なります。
タンク内のお湯を、リモコンに設定されている給湯温度のお湯として何L使えるかが確認できますので、参考にしてください。→P.27



●タンクのお湯が少なくなると、表示や音声でお知らせします。



■目盛表示と使えるお湯の量の目安

○:使用できます　×:使用できません

目盛表示	タンク容量とタンク内のお湯の量の目安		使用できる・できないの目安	
	460L	370L	蛇口・シャワーからの給湯	湯はり
	385L以上	295L以上	○	○
	225L以上	225L以上	○	○
	150L以上	150L以上	○	○
	75L以上	75L以上	○	×
	75L未満	75L未満	○	×
点滅	20L未満	20L未満	×	×
	0L	0L	×	×

お知らせ

●目盛は、蛇口やシャワー、湯はりなどでお湯を使わなくても、自然放熱などで少なくなる場合があります。
●目盛が全て表示されている場合でも、「湯切れ防止」を設定していると「沸き上げ」する場合があります。
●目盛は約 45℃以上のお湯の量を表示しています。
目盛が出ていても給湯温度の設定が高い（たとえば 48℃）場合は、その設定より低い温度（たとえば 46℃）のお湯が出ます。
●7 時～ 23 時で目盛が 1 目盛点灯から点滅に変わるとき、「タンクのお湯が少なくなりました」の音声でお知らせします。その後の使用量に応じて「タンク沸き増し」を行ってください。→P.31
●深夜時間帯の沸き上げ運転中にお湯を使用した場合、満タンまで沸き上げができない場合がありますが、異常ではありません。

システム型式とタンク容量

システム型式	タンク容量
BHP-ZN46YU	460L
BHP-ZN37YU	370L

エコキュートの上手な使いかたポイント

より省エネで経済的にご使用いただくためのポイントを紹介します。

■上手にお湯を沸き上げる

エコキュートは、日々のお湯の使用量を自動的に学習し、その学習結果をもとに、深夜時間帯にお湯を沸き上げ、タンクにためますが、「沸き上げ設定」で、多めに沸き上げるか、少なめに沸き上げるかを選ぶことができます。

まずは、少なめに沸き上げる「おまかせ節約」に設定して使用します。→P.50

●「おまかせ節約」は、昨日までの7日間の平均使用量を沸き上げる設定です。

●工場出荷時は「おまかせ節約」が設定されています。「沸き上げ設定」で確認してください。

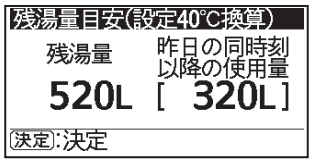
ときどき使用湯量目安、残湯量目安、使用実績を確認します。→P.27

●いつもに比べてお湯を使い過ぎていないか、いつものペースでお湯を使うとタンクのお湯が不足しないかを調べます。

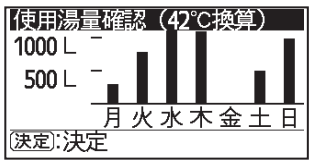
●「使用湯量目安」は、本日これまで使ったお湯の量と、昨日と昨日までの6日間の平均使用湯量の目安で、同時刻と1日分を表示します。
使用湯量は、リモコンの給湯温度設定値で換算しています。



●「残湯量目安」は、本日これから使えるお湯の量の目安です。現在の残湯量と昨日の同時刻以降に使ったお湯の量を表示します。
残湯量は、リモコンの給湯温度設定値で換算しています。



●「使用実績」は、昨日までの7日間の日々のお湯の使用量を表示します。
給湯温度設定値を42℃として換算しています。



▶ タンクのお湯が足りそうなときは、「おまかせ節約」のまま使用します

●お湯がたくさん余りそうなときは、「湯切れ防止設定」を「切」にします。→P.51

▶ タンクのお湯が、足りなくなりそうなときは、「タンク沸き増し」ボタンを押してお湯を沸き上げます。→P.31

1時間で使えるようになるお湯（約40℃）の量の目安

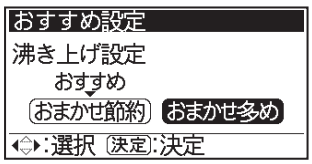
約120L(冬季)～約240L(夏季)



▶ タンクのお湯が、頻繁に足りなくなるときは、「おすすめ設定」を確認して、設定を変更します。→P.30

●「おすすめ設定」は、「沸き上げ」と「湯切れ防止」のおすすめ設定をお知らせします。現在の設定（黒地に白文字）におすすめマークが付いていないときは、おすすめマークの付いた設定に変更します。

●お湯の使いかたが変わったときは、再度「おすすめ設定」を確認します。



■上手に機能を使い、上手にお湯を使う

エコキュートにはいろいろな機能があります。上手に使い、上手に節約しましょう。

「沸き上げ設定」を「おまかせ節約」に設定すると、無駄がないよう少なめに沸き上げます。 →P.50

お湯の量が十分で沸き上げが必要ない場合は、「湯切れ防止設定」を「切」にしましょう。

●無駄な沸き上げを行わず節約につながります。 →P.51

最後にお湯を使う時間が決まっている場合、「湯切れ防止」の「節約設定」を有効にすることをおすすめします。

●設定した時刻以降の「湯切れ防止」による沸き上げを休止し、深夜時間帯に沸き上げることで電気料金が節約できます。 →P.51

旅行などで不在となるときは、「不在時沸き上げ停止」で沸き上げの休止を設定しましょう。

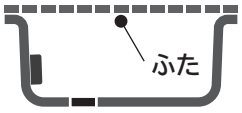
●蛇口やシャワーなどでお湯を1日使わなくても、タンクのお湯の温度が自然放熱などの影響で下がるため、自動的に沸き上げを行いますが、「沸上停止」中は沸き上げを行わず、節約につながります。 →P.32

蛇口やシャワーは出しっぱなしにせず、こまめに止めましょう.

入浴時刻に合わせて湯はりをしましょう。できるだけ続けて入浴して、浴そうからの熱漏れを少なくしましょう。

入浴していないときは、浴そうのふたはきちんと閉めましょう。

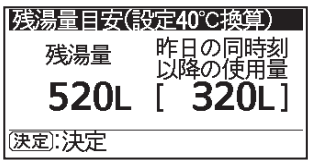
●わずかな隙間からでも熱が漏れ無駄につながります。

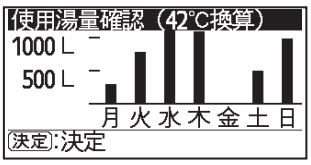


→P.25

「使用湯量目安」や「残湯量目安」、「使用実績」を確認し、節約の目安にしましょう。







→P.27

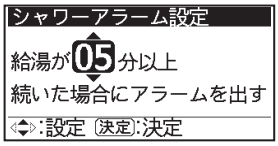
普段と異なるお湯の使いかたをする(お湯を多く使用する)場合

<例>(1) 2人で使用していたが、盆、正月に子どもが帰省してお湯の使用量が増える
(2) 前日よりも急にお湯の使用量が増える

●タンク残湯目盛を確認し、お湯が不足する可能性がある場合、「タンク沸き増し」をします。 →P.16 →P.31

●沸き上げ設定を「おまかせ多め」に変更する、「来客時満タン設定」に変更する、または「湯切れ防止」設定を「全量」へ変更します。 →P.50 →P.51 →P.33

シャワーアラームを設定してシャワーの使用時間と使用量を確認し、お湯を使い過ぎないようにしましょう。



→P.28

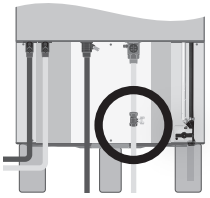
はじめてご使用のときの確認と設定

給湯機とリモコンの確認

1 給湯機が使える状態になっているかを確認する

1 貯湯ユニットのタンク専用止水栓が「開」になっているか？ →P.4

2 貯湯ユニットのタンクが満水になっているか？ →P.42



タンク専用止水栓は、工事により取付位置が違うため、ご不明の場合は、お買い上げの販売店、または工事店にお問い合わせください。

逃し弁のレバーを上げて、タンク排水管から水が連続で出たら満水です。

3 200V電源ブレーカーのスイッチが「ON」になっているか？ →P.4

4 貯湯ユニットの漏電遮断器のスイッチが「ON」になっているか？ →P.3

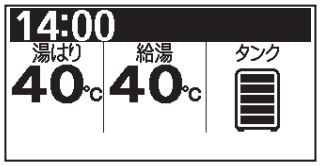


2 リモコンが使える状態になっているかを確認する

1 表示画面に表示が出ているか？

2 表示画面にバックライトが点灯するか？

給湯温度 ∧ ∨ を押すと点灯します



表示が出ていない、バックライトが点灯しない場合は、お買い上げの販売店または、工事店にお問い合わせください。

バックライトは、約1分間ボタンを押さないと、自動的に消灯します。

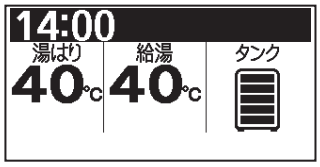
3 表示画面が見にくくないか？

見にくい場合は、コントラストレベルを調整します。 →P.12

3 リモコンの表示内容を確認する

1 時刻表示が現在時刻になっているか？

現在時刻になっていないときは、現在時刻にします。 →P.43



時刻表示が現在時刻とずれていると、電気料金が割高になる場合があります。

2 残湯量目盛が表示されているか？

表示が下のような状態の場合はお湯が使えません。 →P.16





台所リモコンの「タンク沸き増し」ボタンを押して沸き上げを行い、目盛を増やします。 →P.31



「音声ガイド」機能

リモコンには「音声ガイド」機能があり、設定内容などを音声でお知らせします。

ガイド内容には「しんせつ」「標準」「切」のモードがあります。

本取扱説明書は、工場出荷時設定の「しんせつ」モードで説明しています。

給湯機・リモコンに必要な項目の一括設定

●給湯機を使用するためには、右記の項目の設定が必要です。
●ここでは右記項目を連続で設定できる「一括設定」の操作手順を説明します。
各項目の設定内容の詳細は、各項目詳細説明ページをご覧ください。
●給湯温度や湯はり温度、湯はり湯量の設定は、給湯機をお使いになりながら設定してください。

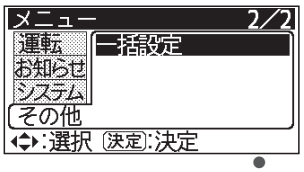
電力契約設定 | 日付設定
沸き上げ設定 | 時刻設定

準備 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1 ＜ ＞ ＜ ＞ を押し、「その他」の「一括設定」を選択し

決定 を押す

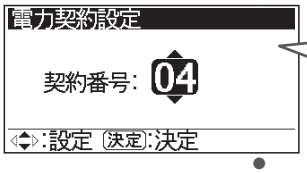
電力契約設定画面になります



2 ＜ ＞ を押し、電力の「契約番号」を設定し →P.44

決定 を押す

沸き上げ設定画面になります



電力会社との契約内容に合った「契約番号（日立固有の番号）」を設定します。違った番号を設定すると、電気料金が割高になる場合があります。
マニュアル設定が設定されているときは →P.46、この画面は表示せずに沸き上げ設定画面になります。

3 ＜ ＞ を押し、深夜時間帯の「沸き上げ量」を設定し →P.50

決定 を押す

日付/時刻設定画面になります



タンクに沸き上げるお湯の設定です。
使いはじめは、
深夜時間帯の「沸き上げ量」は「おまかせ節約」に設定
昼間時間帯の「沸き上げ量」は「少量」に設定
しばらく使い、タンクのお湯の過不足に応じて、設定を見直します。

4 ＜ ＞ を押し、「年」「月」「日」を選択しながら →P.43

＜ ＞ を押し、現在年月日を設定し

決定 を押す

時刻設定画面になります



5 ＜ ＞ を押し、「時」「分」を選択しながら →P.43

＜ ＞ を押し、現在時刻を設定し

決定 を押す

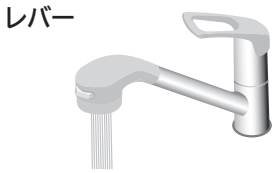
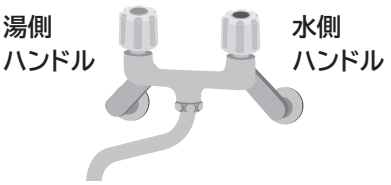
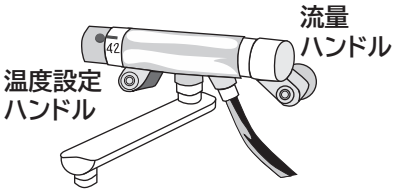
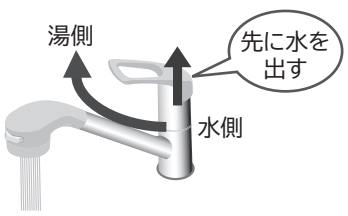
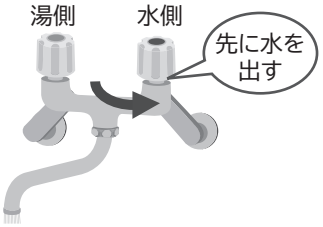
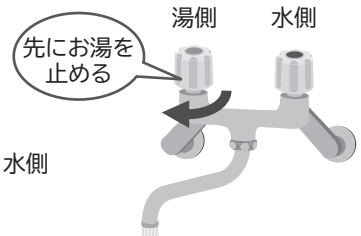
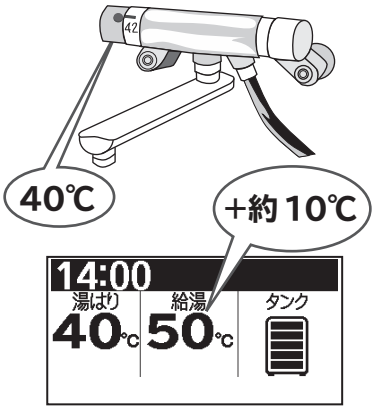
自動で標準画面に戻ります





混合水栓（蛇口）の種類と正しい使いかた

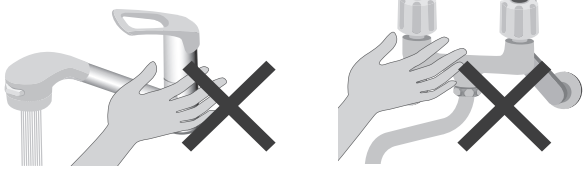
●ご家庭の各給湯場所の混合水栓（蛇口）には下表のような種類があります。それぞれの特徴をよく理解して、正しく、安全にご使用ください。

種類	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外観			
操作のしかた	レバーを上下させて流量調節を、レバーを左右に操作して温度を調節する。	湯側、水側それぞれのハンドルを回して、温度、流量の調節する。	温度設定ハンドルを回し、温度を設定、流量ハンドルを回して流量を調節する。
使用場所	シャワーのない台所流しや洗面台の混合水栓に向いている。		浴室などのシャワー付混合水栓は、安全のため、必ずこの水栓をご使用ください。
正しい使いかた	**■給湯するときは** 先に水を出してから、ゆっくりとお湯を出し、適温にする。   先にお湯を出すと、ほかの場所で設定温度を変更している場合もあり、高温のお湯が出たり、飛び散ることがあります。 **■給湯を止めるときは** 先にお湯を止めてから、水側にする。  先にお湯を止めてから、水を止める。 	混合水栓設定の温度のお湯を出す場合は、リモコンの設定温度を約10℃高くする。  ※サーモスタット付混合水栓は、給湯機からのお湯に水を混ぜて設定温度のお湯にする構造です。そのため混合水栓と給湯機の設定温度が同じ場合は混合水栓からのお湯の温度は低くなります。

⚠警告

禁止

給湯時は、レバーやハンドル以外の部分に手を触れない



高温のお湯の使用時や使用直後は、熱くなっており、やけどするおそれがあります。

■適度な流量で使う

●流量が少ないと、温度が不安定になったり、水が出たりします。

●流量が多かったり、2ヶ所で同時に使うと、温度が低くなることがあります。その場合は、混合水栓を少し閉めてください。

■給湯中の次のような操作は、操作後に設定温度のお湯になるまでにしばらく時間がかかることがあります。

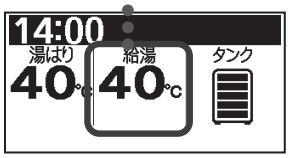
設定温度の変更 ／ 流量の変更 ／ 給湯を止めたあとすぐの再給湯

「給湯」を使う

台所や洗面所などの蛇口からお湯を使う

1 給湯温度を確認する

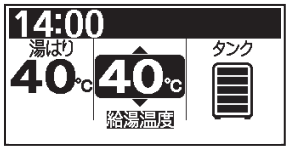
（この表示は40℃が設定されています）



●給湯温度を変えるときは



を押す



給湯温度の設定範囲

低温（水温）、35℃～48℃(1℃刻み)、50℃、55℃、60℃、高温

2 混合水栓（蛇口）を開く

先に水を出し、ゆっくりとお湯を出す
指先などで温度を確かめてから使う

→P.21

⚠ 注意

給湯温度を「高温」に設定するときは、やけど防止のため特に下記の点にご注意ください

- ●混合水栓(蛇口)は、必ずサーモスタット付混合水栓（現地準備品)を使用してください。
- ●シャワー使用時や入浴時は、高温の湯が出るおそれがあるため、必ず湯温を指先などで確かめてください。
- ●小さいお子様や高齢者の方が使用されるご家庭では、危険ですので「高温」設定にはしないでください。
- ●「高温」設定でお湯を使用したあとは、リモコンで給湯温度を下げたあとも配管内に残った高温のお湯が出るおそれがありますので、やけどにご注意ください。
  （例えば「高温」設定で浴そうにさし湯をしたあとにシャワーを使用する場合など、給湯温度を下げても配管内に残った高温のお湯が出るおそれがあります。）

お知らせ

- ●お湯の使い始めは配管に残った水が出るため、混合水栓（蛇口）を開いてからお湯が出るまでに時間がかかる場合があります。
- ●給湯温度を変更するとき、35℃～48℃の範囲では「▲」「▼」ボタンを押し続けると設定温度が連続して変わります。50℃、55℃、60℃、高温、および低温に変更する場合は「▲」「▼」ボタンをくりかえして押してください。
- ●「高温」に設定（60℃以上の高温水を使用)する場合は製品の設定変更が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。
- ●シャワーアラームを設定しておくとシャワーの使用時間とお湯の使用量が確認できます。

→P.28

お知らせ

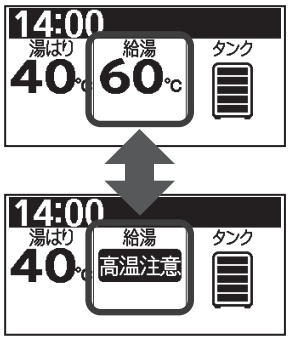
給湯中は表示画面に給湯中のマークが表示します。



給湯温度の設定が50℃・55℃・60℃の場合

やけどに注意していただくために下のような音声と表示でお知らせします。

音声：設定しました
熱いお湯が出ます
ご注意ください



給湯温度を高温に設定した場合

工場出荷時の設定では「高温」はご利用いただけません。
「高温」ではタンク内湯温に近い（60℃以上）の高温水が給湯されるため、ご使用には特に注意が必要です。

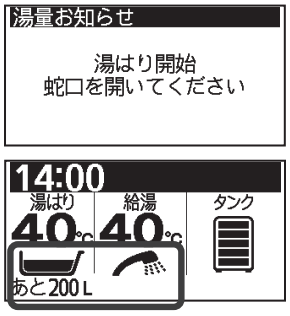


「ふろ」を使う

準備から湯はりまでの操作・運転流れ

<table>
<tr><th colspan="2">操作・運転の流れ</th><th>参照ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="2">準備</td><td>次の項目の確認・設定をします
●湯はり温度
●湯はり湯量

</td><td>→P.23</td></tr>
<tr><td>浴そうの「排水栓」をします。

</td><td></td></tr>
<tr><td>「湯量お知らせ」運転
ふろ湯はり</td><td>湯量お知らせ
を押す
●リモコン表示部に「湯はり開始」が表示されます。混合水栓（蛇口）を開くと給湯を開始します。
●リモコン表示部が通常画面に戻り、浴そうへの湯はり運転中のアニメーションと残りの湯はり湯量、また給湯中のアニメーションを表示します。
●「湯量お知らせ」中は、残りの湯はり湯量をカウントダウンします。
●残りの湯はり湯量0になると、自動で給湯を終了し、湯はり完了をリモコンの表示と音声でお知らせします。
●混合水栓（蛇口）を閉めます。
「湯はり」終了すると、入浴ができます


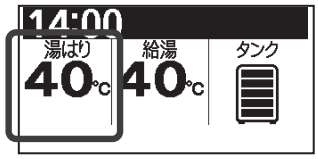
「湯量お知らせ」運転中の表示
⚠警告
湯はり中は入浴しない
高温のお湯が出て、やけどするおそれがあります。
禁止</td><td>→P.24
→P.25</td></tr>
</table>

■「湯はり温度」「湯はり湯量」の確認・設定のしかた

●浴そうに湯はりするお湯の温度と湯量の設定です。

湯はり温度を確認する

（工場出荷時は40℃が設定されています）



●湯はり温度を変えるときは

台所リモコンのふたを開け



湯はり温度 を押し ∧∨ を押す

湯はり温度の設定範囲 ⇒ 低温（水温）、35℃～48℃（1℃刻み）



湯はり湯量を確認する

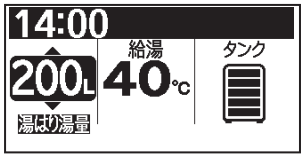
●湯はり湯量を変えるときは

台所リモコンのふたを開け



湯はり湯量 を押し ∧∨ を押す

湯はり湯量の設定範囲 ⇒ 40L～540L 10L刻み）



「湯量お知らせ」運転の操作と運転内容

●「湯量お知らせ」運転による、「湯はり」運転の操作と表示の内容です。

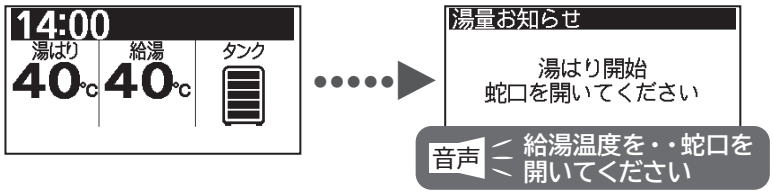
浴そうの準備をします

湯量お知らせ



を押します

●ボタンのランプが点灯、音声と表示でお知らせます。

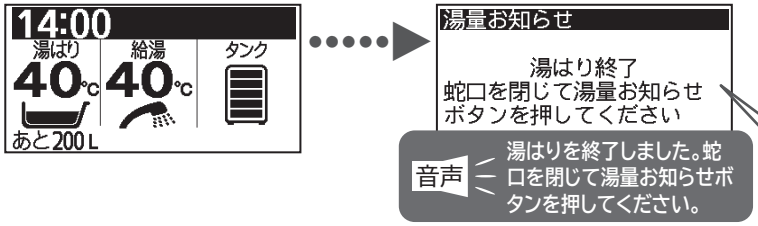


混合水栓（蛇口）を開きます

●混合水栓（蛇口）を開くと給湯を開始します。

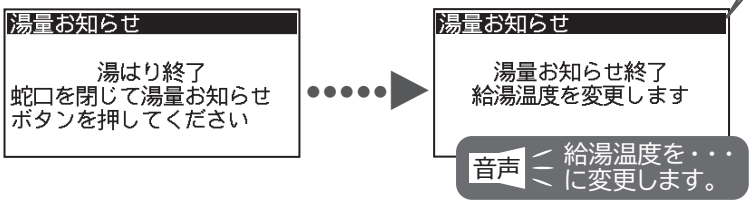
●リモコン表示部が標準画面に戻り、残りの湯はり湯量を表示します。

●残りの湯はり湯量が0Lになると、文字と音声でお知らせします。



混合水栓（蛇口）を閉じる

●混合水栓（蛇口）を閉めて、湯量お知らせ  を押すと、リモコン表示部が「湯量お知らせ終了」を表示します。



入浴ができます

ご注意 湯はり温度について

サーモスタット式混合水栓（蛇口）をご使用の場合は、混合水栓（蛇口）の設定温度を湯はり温度より高めに設定してください。湯はり温度より低いと水が混ざるため給湯量が湯はり湯量より多くなります。

ご注意 湯量お知らせ終了について

●給湯は自動で停止しません。混合水栓（蛇口）を閉めて「湯量お知らせ」ボタンを押してください。

お知らせ

●「湯量お知らせ」ボタンを押さずに混合水栓を開けても湯はりはできますが、湯はり終了のお知らせはありません。また、この場合は給湯設定温度で湯はりするため、給湯温度を「高温」に設定している場合はご注意ください。

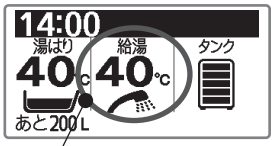
「ふろ」を使う（つづき）

⚠警告

やけどにご注意ください

お知らせ　湯量お知らせ中の給湯温度について

●湯量お知らせ運転を開始すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が「湯量お知らせ」で設定した湯はり温度に変わります。湯はり温度を高めに設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて運転を開始してください。

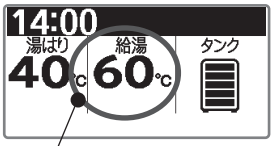


給湯温度が変わります

●湯量お知らせ運転中、給湯温度の変更はできません。

ご注意　湯量お知らせ終了後の給湯温度について

●湯量お知らせ運転を終了すると、すべての混合水栓（蛇口）の温度が給湯温度に変わります。給湯温度を高く（例えば60℃）設定している場合は、他の人がお湯を使用中でないか確かめて湯量お知らせ運転を終了してください。

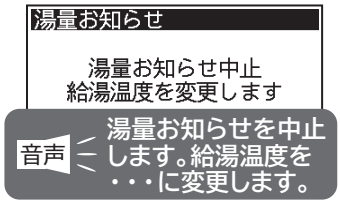


給湯温度が変わります

■途中でとめたいとき

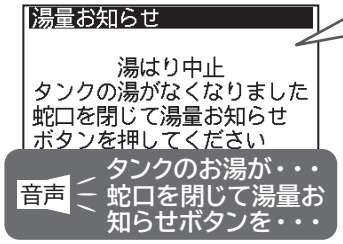
混合水栓（蛇口）を閉じ、湯量お知らせ を押します。

●ボタンのランプが消灯し、湯量お知らせ運転が停止します。



■タンクの残湯量が少ないとき

●タンク残り湯が少なくなると文字と音声でお知らせします。



お知らせ

●混合水栓（蛇口）を閉じ、湯量お知らせ を押すまでの間、音声を出します。

音声　蛇口を閉じて湯量お知らせボタンを押してください。

混合水栓（蛇口）を閉じ、湯量お知らせ を押します。

●ランプが消灯し湯量お知らせ運転が停止します。

■入浴のしかた

●入浴は、次のようにすると、タンクのお湯が節約できます。

湯はり後はすぐ入浴しましょう。	間隔をあまり空けずに入浴しましょう。	入浴していないときはふたを閉めましょう。

●入浴するときは、次のことに注意して入浴してください。

⚠警告

浴そうのお湯の温度を指先などで確認してから入浴する

※入浴時に指先などで湯温を確かめないと、やけどの原因となります。

確認



「節約サポート」機能の使いかた

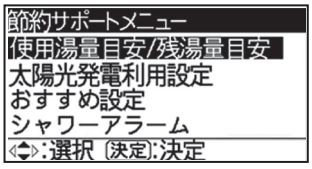
●「節約サポート」機能には、省エネなど節約につながる次の4つの機能があります。

機　能　項　目	機　能　内　容	詳細頁
使用湯量目安 /残湯量目安	使ったお湯の量と、タンクに残っているお湯の量をお知らせします。	→P.27
太陽光発電利用設定	太陽光発電利用機能の設定をします。	→P.52
おすすめ設定	お湯の使用状況を学習し、「沸き上げ」のおすすめ設定モードをお知らせします。また、「湯切れ防止」の設定の確認ができます。	→P.30
シャワーアラーム	シャワーを使った時間と、シャワーに使ったお湯の量を表示し、設定した時間を超えたときにアラームでお知らせします。	→P.28

1

節約サポート

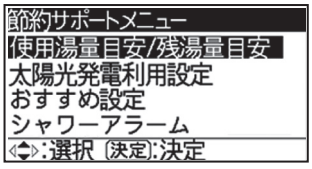
を押す



2

を押し、機能を選択し、

決定 **を押す**



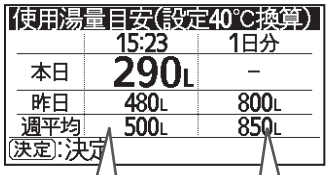
設定操作手順は、各機能の説明ページで説明します

「節約サポート」機能の使いかた（つづき）

使用湯量目安／残湯量目安

●いつもに比べてお湯を使い過ぎていないか、いつものペースでお湯を使うとタンクのお湯が不足しないかなどを確認できます。
タンクのお湯が“足りる・足りない”などの目安として、またお湯の節約にお役立てください。

使用湯量目安



0時00分～15時23分に使ったお湯の量

0時00分～23時59分に使ったお湯の量

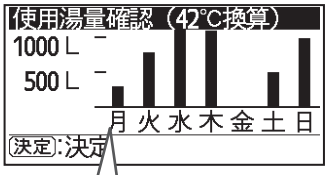
残湯量目安



15時23分以降に使えるお湯の量

昨日15時23分以降に使ったお湯の量

使用湯量確認



昨日までの7日間の日々に使ったお湯の量

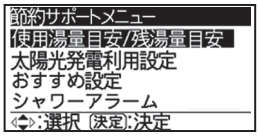
数値は、リモコンの給湯温度設定値で換算した目安表示です。
10L単位で表示しています。

42℃のお湯として換算した目安表示です。

準備

節約サポート

を押す

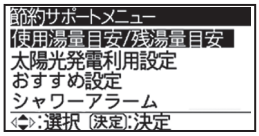


1

を押し、「使用湯量目安／残湯量目安」を選択し

決定 **を押す**

使用湯量目安画面になります



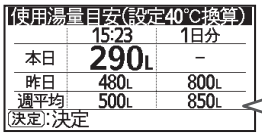
2

今日これまでに給湯で使ったお湯の量を表示します。

使用湯量目安確認後

決定 **を押す**

残湯量目安画面になります



「使用湯量目安」の数値には、混合水栓の水側の水量は含んでいません。

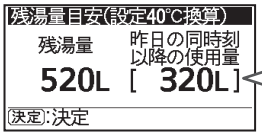
3

今タンクにあるお湯が、設定給湯温度のお湯として何L給湯できるかを表示します。

残湯量目安確認後

決定 **を押す**

使用湯量確認画面になります



「残湯量」を増やしたい場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押して、タンクにお湯を沸き上げてください。→P.31

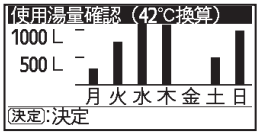
4

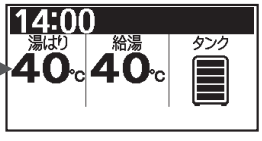
昨日までの7日間の日々のお湯の使用量を表示します。

使用湯量確認後

決定 **を押す**

標準画面に戻ります





お知らせ

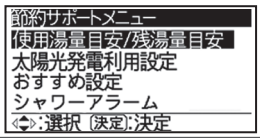
表示値は、タンクのお湯と水の温度から、給湯温度設定値、または42℃のお湯に換算しているためタンクのお湯の温度を一定としたとき、水温が高い夏のほうが、使えるお湯の量は多くなります。

シャワーアラーム

●浴室のシャワーや蛇口（台所）の連続使用時間と使用量が確認できます。また、あらかじめ設定した連続使用時間を越えると、アラームでお知らせします。お湯の使用量節約にお役立てください。なお、「湯量お知らせ」運転中は使用できません。
工場出荷時は、設定使用時間は「5分」、シャワーアラームは「しない」に設定されています。

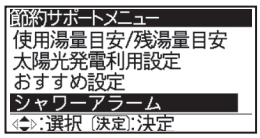
準備

節約サポート **を押す**



1

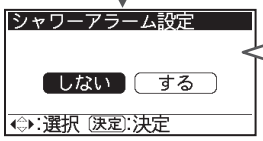
を押し、「シャワーアラーム」を選択し



決定 **を押す**
シャワーアラーム設定画面になります

2

を押し、「しない」「する」のいずれかを選択し

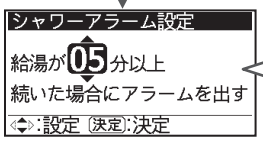


「しない」を選択し、「決定」ボタンを押すと「標準画面」に戻り、ここで設定は完了します。

決定 **を押す**
使用時間設定画面になります

3

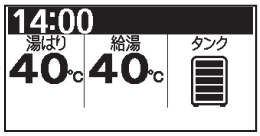
を押し、アラームで知らせて欲しい時間を設定し



1～99分（1分刻み）で設定できます。

決定 **を押す**

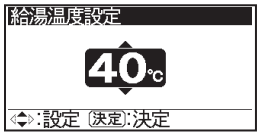
設定完了



シャワーアラーム画面表示中に、給湯温度を確認・設定するときは

1

給湯温度 **を押し、温度を確認・設定する**



2

決定 **を押す**
シャワーアラーム画面に戻ります



お知らせ

食洗器を使用すると、シャワーアラーム画面が表示される場合があります。

シャワーアラーム画面表示中に、標準画面に戻す（シャワーアラームを中止する）ときは

1

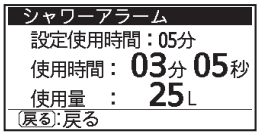
戻る **を押す**
標準画面に戻ります



「節約サポート」機能の使いかた（つづき）

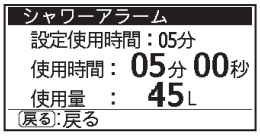
シャワーアラームを設定すると

給湯流量が4L/分以上の連続使用で、給湯（使用）量が基準量を越えるとシャワーアラーム画面が表示されます。画面には、給湯使用時間と給湯（使用）量が表示され、連続使用が停止されるまで、加算表示されます。
【基準量（L）=設定使用時間×4L】
<例>　設定使用時間5分の場合　基準量=5分×4L=20L

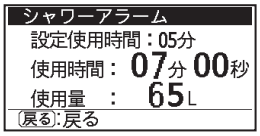


給湯の連続使用が設定使用時間を越えると、次のアラーム音でお知らします。
（アラーム音でお知らせ中はバックライトが点滅します。）

設定使用時間（5分）経過時点：「ピー」



設定使用時間（5分）+2分経過時点：「ピーピー」



設定使用時間（5分）+4分経過時点：「ピーピーピー」

以降、連続使用が停止されるまで、2分経過ごとに「ピーピーピー」でお知らせします。



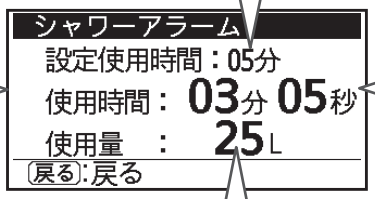
連続使用が約10秒間以上停止されると、シャワーアラームを終了します。（シャワーアラーム画面は約3秒間以上停止すると、標準画面に戻りますが、給湯使用を再開すると、シャワーアラーム画面が継続して表示されます。）

シャワーアラーム画面表示中に 戻る を押すと、シャワーアラームを終了し、標準画面に戻ります。



お知らせ

設定使用時間は
バックライトの点滅とアラーム音を、最初に出す時間です。



シャワーアラーム画面は
リモコンの給湯温度を高く設定するほど表示されにくくなります。

浴室でシャワーを使用していない場合でも、台所や洗面所などで給湯を連続使用すると表示される場合があります。また、給湯の流量が少ないとき、最初少ない給湯流量で給湯し、途中から湯量を増やしたときは、表示されないことがあります。 →P.64

点検表示 →P.59 が表示されているときは、表示されません。

使用時間は
給湯開始からの給湯連続使用時間です。

複数の混合水栓で連続給湯された場合は、最後に給湯が停止されたときまでの時間になります。

使用量は
貯湯ユニットから出たお湯の量です。混合水栓の水側の水量は含みません。

複数の混合水栓で連続給湯された場合は、合計の値になります。

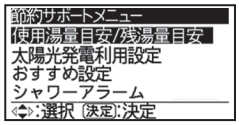
シャワーアラーム画面表示中のボタン操作は
「給湯温度」と「戻る」ボタン以外のボタン操作はできません。給湯温度を確認・設定したいときは →P.28

おすすめ設定

●自動的にタンクに沸き上げるお湯の量を設定した「沸き上げ設定」と「湯切れ防止設定」→P.50,51が、現在のお湯の使いかたに合った設定になっているか確認できます。頻繁にお湯が足りなくなる、いつもお湯が余る、お湯の使いかたが変わったなど、設定を見直したいときに確認してください。

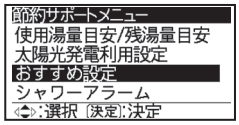
準備

節約サポート **を押す**



1

を押し、「おすすめ設定」を選択し

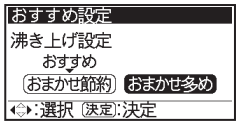


決定 **を押す**

沸き上げ設定画面になります

2

を押し、「沸き上げ設定」を選択し

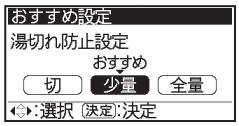


決定 **を押す**

湯切れ防止設定画面になります

3

を押し、「湯切れ防止設定」を選択し



決定 **を押す**

設定完了



お願い

設定後、お湯の使いかたなどに変化があると、お湯が不足したり、余ったりすることがあります。
この場合は、再度「おすすめ設定」を確認してください。

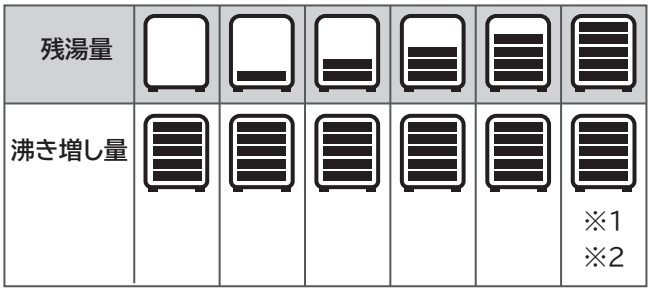
黒地に白文字の表示が現在の設定、「おすすめ」が付いた表示がおすすめの設定です。
「おまかせ小世帯」は1～2人世帯向けの設定であるため、おすすめ設定では表示されません。

「湯切れ防止設定」のおすすめは「少量」を表示します。

「タンク沸き増し」のしかた

●残湯量目盛（タンクのお湯の量）が少ないときに、湯はりなどタンクのお湯を多く使いたい場合など、残湯量目盛を増やす（タンクにお湯を沸き上げる）のが「タンク沸き増し」ボタンです。

●タンクの残湯目盛がどの状態からでも、残湯量目盛5目盛まで沸き増しします。



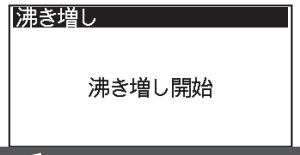
※1　残湯量表示は変わりません。
※2　タンク内に十分お湯があるときは、沸き増しができないことがあります。

●1時間で沸き上げるお湯（40℃）のめやす　「約120L（冬季）～240L（夏季）」

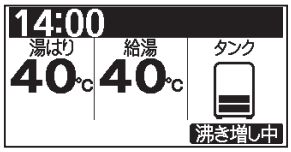
「タンク沸き増し」運転のしかた

タンク沸き増し
を押す

●音声と表示でお知らせし、「タンク沸き増し」運転をはじめます。

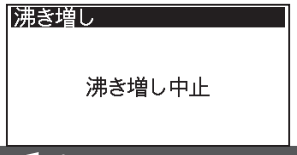


音声　沸き増しを開始します



運転の中止は タンク沸き増し **を押す**

●音声と表示でお知らせし、「タンク沸き増し」運転を中止します。



音声　沸き増しを中止します

お願い

タンクのお湯が頻繁に足りなくなる場合は、深夜時間帯の「沸き上げ」設定を確認し、「おまかせ節約」、「おまかせ小世帯」になっているときは「おまかせ多め」に設定を変更してください。 →P.50

お知らせ

タンク内に十分お湯があるときは沸き増し運転をしないことがあります。

昼間時間帯の「タンク沸き増し」運転は、電気料金が割高になります。

「不在時沸き上げ停止」予約のしかた

●旅行などである期間お湯を使わないことが分かっている場合は、「不在時沸き上げ停止」予約をおすすめします。
●蛇口やシャワーなどでお湯を1日使わなくても、タンクのお湯の温度が自然放熱などで下がるため、自動的に沸き上げを行いますが、「不在時沸き上げ停止」中は沸き上げを行わず、節約につながります。
●「不在時沸き上げ停止」中も気温が低くなると、凍結による機器の破損を防ぐため、凍結防止運転をする場合があります。
●停止できる日数は1日～31日間で、最大6ヶ月先の月まで予約できます。

次の設定手順は、6月21日から沸き上げを停止し、7月1日にお湯の使用を再開する場合です。
この設定では、6月30日の深夜時間帯から自動的に沸き上げを再開し、7月1日朝（深夜時間帯終了後）にはお湯が使えます。

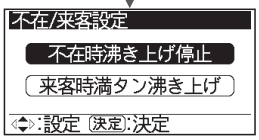
準備 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1 〈 〉〈 〉を押し、「タンク」の「不在／来客設定」を選択し



決定 を押す
「不在/来客設定」設定画面になります

2 〈 〉を押し、「不在時沸き上げ停止」を選択し



決定 を押す
「停止開始日」設定画面になります

3 〈 〉〈 〉を押し、停止開始日の6月21日を設定し



決定 を押す
「停止終了日」設定画面になります

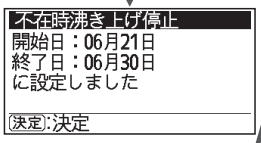
4 〈 〉〈 〉を押し、停止終了日の6月30日を設定し



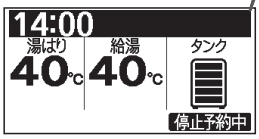
決定 を押す
「設定内容」確認画面になります

5 設定内容を確認後

決定 を押す

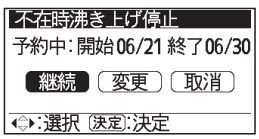


6 設定完了



予約中は **停止予約中** を表示
停止中は **沸上停止中** を表示
停止期間が終了すると表示は消えます。

予約日の確認・変更・取消しは ❶,❷ の操作をする



〈 〉〈 〉を押し、「継続」「変更」「取消」のいずれかを選択し

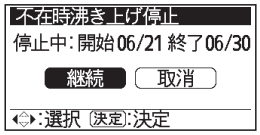
継続	決定 を押す	停止予約を継続します
変更		❸～❻ の操作で日付を再設定します
取消		停止予約を取り消します

お知らせ

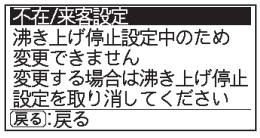
「不在時沸き上げ停止」設定と「来客時満タン沸き上げ」設定は、同時に設定できません。

お知らせ

沸上停止中に予約日の変更を行う場合は、継続か取消しかできません。変更する場合は、取消をして再設定してください。



「不在時沸き上げ停止」設定中は「来客時満タン沸き上げ」への設定変更はできません。



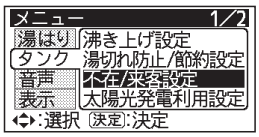
「来客時満タン沸き上げ」予約のしかた

●来客などである期間お湯を普段より多く使用する場合は､「来客時満タン沸き上げ」予約をおすすめします。
●来客によりお湯を普段より多く使用するとき、貯湯タンクの沸き上げ量を多くし、湯切れの防止につながります。
●設定期間が経過すると、通常の沸き上げ量に戻し、設定期間の給湯使用量などは日々の学習には使用しません。
●「来客時満タン設定」中もお湯の使用量が多すぎると、湯切れが発生する場合があります。
●設定できる日数は1日～31日間で、最大6ヶ月先の月まで予約できます。

次の設定手順は、６月２１日から満タン設定による沸き上げを開始し、６月３０日に設定を終了する場合です。
この設定では、６月２０日の深夜時間帯から満タン設定での沸き上げを開始し、６月３０日の深夜時間帯から通常の沸き上げ設定に戻ります。

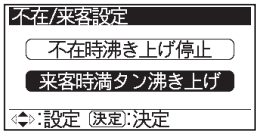
準備 **リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す**

1 **を押し、「タンク」の「不在／来客設定」を選択し**



決定 **を押す**
「不在/来客設定」設定画面になります

2 **を押し、「来客時満タン沸き上げ」を選択し**



決定 **を押す**
「満タン開始日」設定画面になります

3 **を押し、満タン開始日の6月21日を設定し**



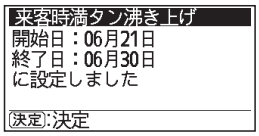
決定 **を押す**
「満タン終了日」設定画面になります

4 **を押し、満タン終了日の6月30日を設定し**



決定 **を押す**
設定確認画面になります

5 **満タン沸き上げの設定日を確認後**

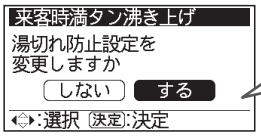


決定 **を押す**
「湯切れ防止」設定画面になります

次ページ **6** へ続く

お知らせ
「来客時満タン沸き上げ」設定と「不在時沸き上げ停止」設定は、同時に設定できません。

6 昼間の湯切れ防止設定を変更するか選択し



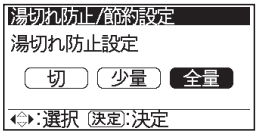
「太陽光発電利用」が設定されている時は、8.設定完了画面になります。

決定 **を押す**

「湯切れ防止設定」変更画面になります

7 昼間の湯切れ防止設定を変更し

決定 **を押す**

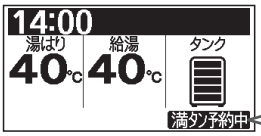


お知らせ

・「湯切れ防止設定」を変更すると、変更した時点より有効となります。
・「湯切れ防止設定」を変更した場合は、満タン設定期間が終了した後に元の設定に戻してください。

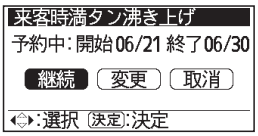
8

設定完了



予約中は **満タン予約中** を表示
期間中は **満タン設定中** を表示
沸上中は **満タン沸上中** を表示
満タン設定期間が終了すると表示は消えます。

予約日の確認・変更・取消しは
❶, ❷の操作をする

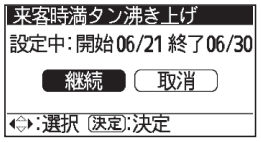


〈 〉を押し、「継続」「変更」「取消」のいずれかを選択し

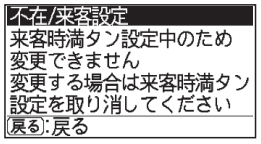
継続	決定 を押す	**満タン設定の予約を継続します**
変更		**❸～❽の操作で日付を再設定します**
取消		**満タン設定の予約を取り消します**

お知らせ

満タン設定中に予約日の変更を行う場合は、継続か取消しかできません。変更する場合は、取消をして再設定してください。



「来客時満タン沸き上げ」設定中は「不在時沸き上げ停止」への設定変更はできません。



給湯機の運転停止と再運転のしかた

●給湯機を1か月以上使わないときは、タンクや配管のお湯（水）の劣化や、無駄な沸き上げをしないように、給湯機の運転を停止させ、タンクや配管のお湯（水）を抜いておきます。
●給湯機周囲の外気温が0℃以下になると、タンク排水栓が凍結している場合があります。凍結している場合は無理に操作しないでください。破損の原因になります。
●ふたたび使用するときは「再運転のしかた」→P.36に従って、運転を再開してください。

運転停止のしかた

貯湯ユニットに脚（配管）カバーが付いている場合は、ねじを外し、脚（配管）カバーを外して作業し、作業終了後は、脚（配管）カバーを取り付けてください。

⚠警告

やけど注意

配管やお湯に手を触れない

※高温になっている場合があり、やけどのおそれがあります。

1 タンク内の温度を下げる

1 混合水栓（蛇口）を開きお湯を出す
- タンクの排水時に熱湯が排水されることを防止するためにタンク内のお湯を出します。

2 混合水栓（蛇口）を閉める
- 蛇口からぬるい水が出てきたら、蛇口をしめます。（排水温度は45℃以下にしてください。）

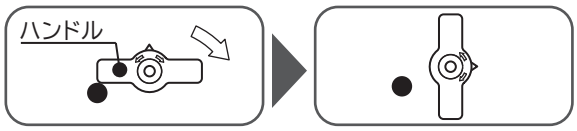
2 タンクや配管のお湯（水）を抜く

1 漏電遮断器のスイッチを「OFF」にする

2 タンク専用止水栓を閉じる
- タンク専用止水栓の位置が分からない場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

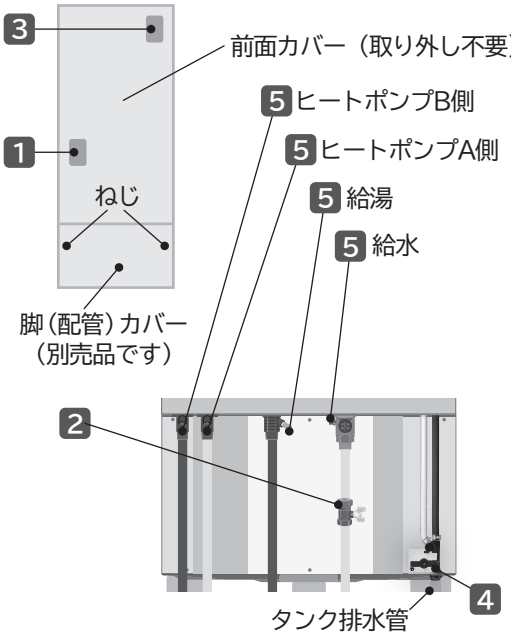
3 逃し弁のレバーを上げる

4 タンク排水栓のハンドルを右に回し、排水する。



- タンクの排水は、満タンの場合約60分～90分かかります。

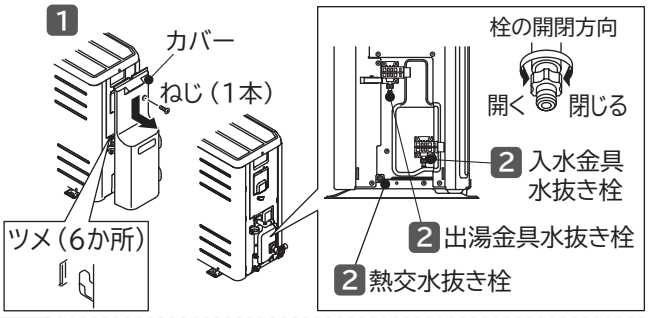
5 水抜き栓（4か所）を開き、お湯（水）を抜く



3 ヒートポンプユニットの配管のお湯（水）を抜く

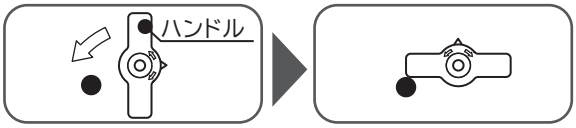
1 カバーを外す
- ねじ（1本）を外し、カバーをツメ（6か所）が外れるまで下方へスライドさせて外します。（ねじがゆるまない時は、プラスドライバーを使用してください）

2 水抜き栓（3か所）を開き、お湯（水）を抜く



4 タンク排水栓と各水抜き栓を閉じる

タンク排水管と各水抜き栓からお湯（水）が出なくなったら
- 貯湯ユニットのタンク排水栓のハンドルを左に回し、元の位置に戻す。



- 貯湯ユニットの水抜き栓（4か所）を閉じる。
- ヒートポンプユニットの水抜き栓（3か所）を閉じ、カバーを取り付ける。

お願い

水抜き終了後、タンク排水栓、各ユニットの水抜き栓が閉まっていることを確認してください。

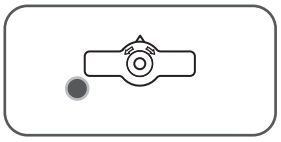
凍結のおそれの高い地域の場合、水抜き作業はお買い上げの販売店または工事店に依頼してください。（作業は有償になります）
本ページの水抜きでは、配管の一部に水が残り、凍結を完全に防ぐことはできず、部品故障のおそれがあります。

再運転のしかた

貯湯ユニットに脚（配管）カバーが付いている場合は、ねじを外し、脚（配管）カバーを外して作業し、作業終了後は、脚（配管）カバーを取り付けてください。

1 タンクに給水する

1 タンク排水栓が「通常」位置になっていることを確認する



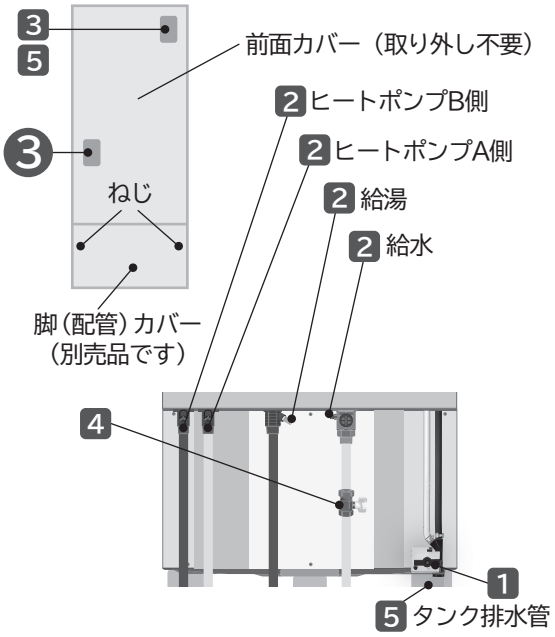
2 水抜き栓（4か所）が閉じていることを確認する

3 逃し弁のレバーが上がっていることを確認する

4 タンク専用止水栓を開き、タンクに給水する

5 タンク排水管から水が連続して出てきたら、逃し弁のレバーを下げる

- 連続で水が出たら満水です。
- 満水まで約30分～40分かかります。



2 ヒートポンプユニットのエア抜きをする

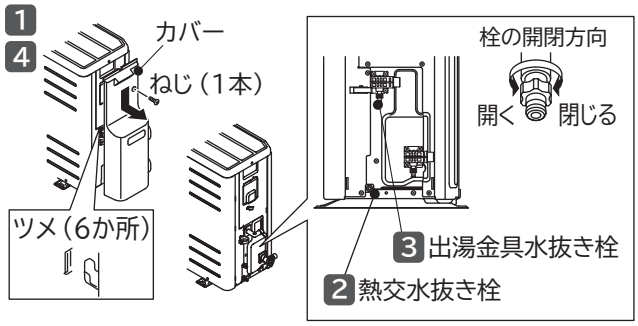
1 カバーを外す

- ねじ（1本）を外し、カバーをツメ（6か所）が外れるまで下方へスライドさせて外します。（ねじがゆるまない時は、プラスドライバーを使用してください）

2 「熱交水抜き栓」を3分間以上開き、水が勢いよく出たら、「熱交水抜き栓」を閉じる。

3 「出湯金具水抜き栓」を3分間以上開き、水が勢いよく出たら、「出湯金具水抜き栓」を閉じる。

4 カバーを取り付ける



3 漏電遮断器のスイッチ（電源スイッチ）を「ON」にする

お願い

漏電遮断器のスイッチは、タンクの満水とヒートポンプユニットのエア抜きを必ず実施してから、「ON」にしてください。ヒートポンプユニットのエア抜きをせずに「ON」した場合、故障の原因となります。

給湯機の運転停止と再運転のしかた（つづき）

4 ヒートポンプ配管のエア抜きをする

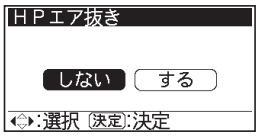
1 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

2 を押し、「運転」の「HPエア抜き」を選択し

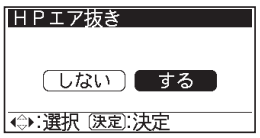


決定 を押す

「HPエア抜き」設定画面になります

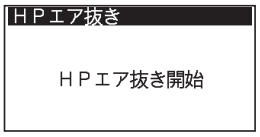


3 を押し、「する」を選択し



決定 を押す

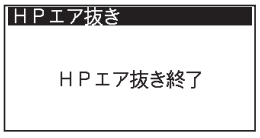
「HPエア抜き開始」画面になり、運転をはじめます。

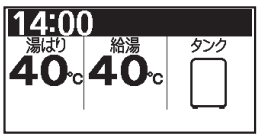


「HPエア抜き」運転の残り時間を表示しながら約5分間行います。



「HPエア抜き」運転の終了は表示画面でお知らせし、標準画面に戻ります。





タンクのお湯（水）の非常時使用のしかた

●万一の災害時などは、タンクのお湯を非常用生活用水と使用することができます。
●飲用はできません。やむを得ない場合は、沸騰させてから飲用してください。なお、固形物や変色、濁り、異臭、異物があった場合には、雑用水として使用してください。

貯湯ユニットに脚（配管）カバーが付いている場合は、ねじを外し、脚（配管）カバーを外して作業し、作業終了後は、脚（配管）カバーを取り付けてください。

1 漏電遮断器のスイッチ(電源スイッチ)を「OFF」にする

2 タンク専用止水栓を閉じる

- タンク専用止水栓の位置が分からない場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

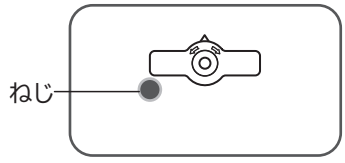
3 逃し弁のレバーを上げる

4 取水ホースの先端を熱に強い容器で受ける

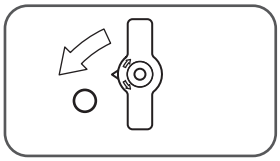
- 熱湯（最高90℃）が出る場合があります。

5 タンクのお湯(水)を出す

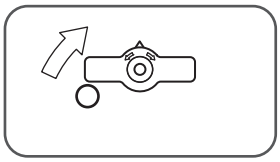
1 ねじを取り外す



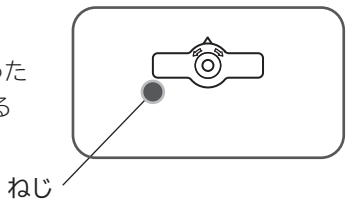
2 ハンドルを左側に回しお湯（水）を出す



3 お湯（水）を止めるときはタンク排水栓を右に回し、元の位置に戻す



4 お湯（水）の使用が終わったときは、ねじを取り付ける

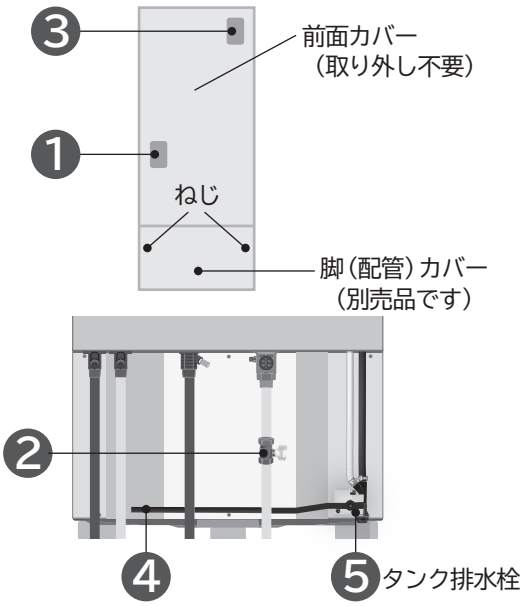


⚠警告

配管やお湯に手を触れない

やけど注意

※高温になっている場合があり、やけどのおそれがあります。



お願い

取水ホースから出るお湯（水）の最初は湯アカなどが含まれている場合があります。しばらく流し捨ててからお使いください。

お湯の使用が終わったときは、タンク排水栓ハンドルを「通常」に戻し、ねじを取り付けてください。

給湯機として再び使用するときは、「再運転のしかた」→P.36 に従ってください。

給湯機周囲の外気温が0℃以下になるとタンク排水栓が凍結している場合があります。凍結している場合は無理に操作しないでください。破損の原因になります。

⚠警告

非常用生活用水使用時は湯温を確めて熱に強い容器を使用する

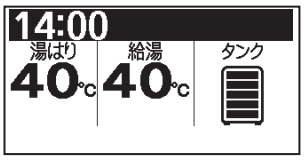
●熱いお湯（最高90℃）が出ます。やけどにご注意ください。
●ガラス容器などは熱により割れることがあります。

停電したときの使いかた

■停電中

●リモコン表示画面が消え、運転中の機能は運転停止します。なお各機能の設定内容は記憶されています。
●「給湯」機能は使えません。また混合水栓から出るお湯（水）は、タンクにお湯があればお湯は出ますが、設定温度のお湯にならない場合があります。熱いお湯が出る場合がありますので、ご注意ください。

■停電復帰時



●リモコン表示画面の時刻と各設定内容を確認します。
- 正しい現在時刻が表示され、温度などの設定が停電前と変わっていなければ、そのままご使用になれます。
- 時刻表示が現在時刻とずれていると、電気料金が割高になる場合がありますので、現在時刻に合わせてください。

●停電前に運転していた機能は、停電が復帰しても自動的には再運転しません。再度運転したい場合は、運転したい機能のボタンを押して運転してください。

お願い 湯量お知らせ運転中に停電した場合は、湯はり終了のお知らせはありません。また、停電復帰後、湯量お知らせ運転は継続しますが、湯はり終了お知らせの前に、浴そうのお湯があふれることがありますのでご注意ください。

断水したときの使いかた

■断水中

●断水したときは、「タンク専用止水栓」を閉じてください。

ご注意 「タンク専用止水栓」を開けたままにすると、次のような原因になります。
- 断水が復帰したときに、濁った水がタンクに給水され、お湯が濁ったり、貯湯ユニットのフィルター（ストレーナ）が目詰まりして、お湯の出が悪くなります。
- タンクに空気が入り、設定温度のお湯が出なかったり、お湯の温度が安定しなくなります。

●すべての混合水栓を閉じておいてください。
●タンクに給水されないため、タンクにお湯があっても、「給湯」機能、お湯、水とも使えません。

お知らせ タンクのお湯を非常用生活用水として使用することができます。

■断水復帰時

●断水が復帰したときは、次の確認をしてから、「タンク専用止水栓」を開けて、使用を再開してください。
- 混合水栓の水側を開けて、水の濁りや空気の混ざりがなくなったことを確認する。
- 断水復帰直後は水圧が低い場合があります。水圧が高くなったことを確認する。
- タンク残量目盛りが少ないときは、「タンク沸き増し」ボタンを押してしばらくお待ちください。（1目盛り 約2時間） →P.16

凍結防止のしかた

●各配管に保温工事がされていても、給湯機周囲の外気温が0℃以下になると、配管が凍結し、配管や貯湯ユニットが破損することがあります。寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、凍結防止を必ず行ってください。

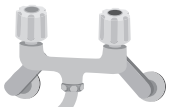
■給水配管、給湯配管の凍結防止策

給湯温度を「低温」に設定してから、混合水栓を、わずかに水が出る（1分間に 200cc：コップ1杯分）ように開けておく

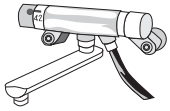
シングルレバーの場合は、レバーを水側と湯側の中間位置にして開けます。



ツーハンドルの場合は、水側と湯側のハンドルを同じ程度に開けます。



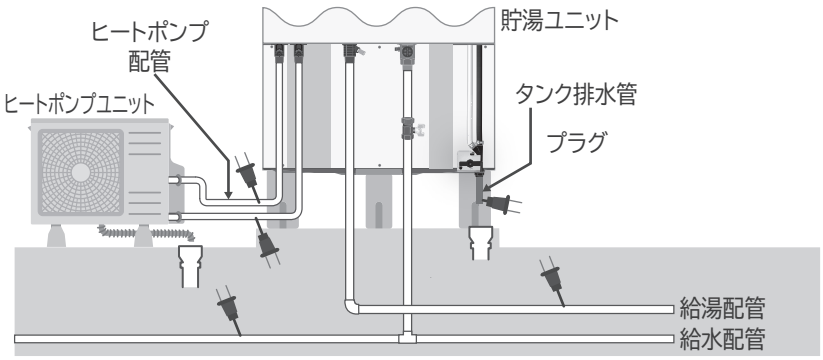
サーモスタット付の場合は、混合水栓の温度設定を40℃付近に設定して、ハンドルを開けます。



■配管全体の凍結防止策

凍結防止ヒーターを使う

凍結防止ヒーターがある場合は、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。



お願い

配管が凍結した場合は、タンク専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店または工事店へ連絡してください。

凍結のおそれがある季節になったときは、必ず凍結防止ヒーターのプラグをコンセントに差し込んだ状態にし、凍結しない季節になったときは、凍結防止ヒーターのプラグをコンセントから抜いてください。

お手入れと確認・点検

リモコン・・・・・こまめにお手入れ

●リモコンの表面は、湯アカや石けんカスで汚れ、時間経過とともに落ちにくくなります。こまめにお手入れしてください。

乾いた布や水に濡らした布を硬く絞って拭く

・汚れが落ちにくい場合は、台所用中性洗剤をお湯で薄め布に含ませて拭き取ってください。

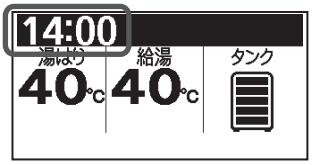
ご注意 「台所用中性洗剤以外の洗剤」や「ベンジン」「シンナー」などを使用しないでください。
※リモコンの変形、変色の原因になります。

水洗いしないでください。
※リモコンの故障の原因になります。

時刻表示・・・・・月に1度は確認

●リモコンの時刻表示が現在時刻になっていないと電気料金が割高になる場合があります。月に1度は確認してください。

時刻表示を現在時刻にする →P.43

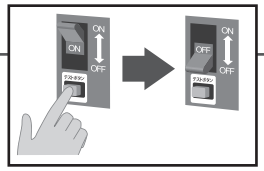


漏電遮断器・・・・・月に1度は動作を確認

●万一漏電したときに電気を切る安全装置です。動作を月に1度は確認してください。確認後は操作カバーを閉じてください。開けたままの使用は、漏電や感電の原因になります。

1 **「テストボタン」を押し、スイッチが「OFF」になることを確認する。**

2 **スイッチを「ON」に戻す**



お願い 「テストボタン」を押しても「OFF」にならない場合は、200V電源ブレーカーを「OFF」にして、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。

⚠警告

動作確認

漏電遮断器の動作確認する

故障のまま使用すると感電や火災の原因となります。

配管全体・・・・・・・年に1度は点検

●水やお湯が漏れていないか、保温材が傷んでいないかを点検してください。 特に集合住宅（マンション）での水やお湯の漏れは、階下に被害を及ぼします。

逃し弁・・・・・年に2～3度は動作を確認

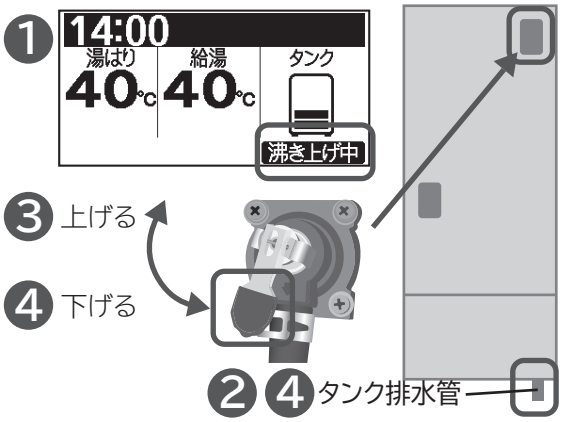
●「沸き上げ」や「沸き増し」時のタンクのお湯の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を防ぐ安全装置です。

1 **表示画面に 沸き上げ中 または 沸き増し中 が表示されていないことを確認する**

2 **タンク排水管からお湯が出ていないことを確認する**

3 **逃し弁のレバーを上げ、タンク排水管からお湯が出ることを確認する**

4 **逃し弁のレバーを下げ、タンク排水管からお湯が出ないことを確認する**
- お湯が止まらない場合は、レバーを２～3回上げ下げしてください。



⚠警告



逃し弁点検時はタンク排水栓に触れない
・やけどの原因となります。

お知らせ
●「沸き上げ」または「沸き増し」中に、少量のお湯を排水するのは正常な動作です。

タンク・・・・・年に2～3度は排水を実施

●タンク内底部には、使用にともない、湯アカなどの沈でん物がたまります。タンクのお湯（水）を排水して除去してください。

1 **漏電遮断器のスイッチ（電源スイッチ）を「OFF」にする**

2 **タンク専用止水栓を閉じる**
- タンク専用止水栓の位置が分からない場合は、お買い上げの販売店または工事店にお問い合わせください。

3 **逃し弁のレバーを上げる**

4 **タンク排水栓のハンドルを右側に回し、約2分間排水し、元の位置に戻す**



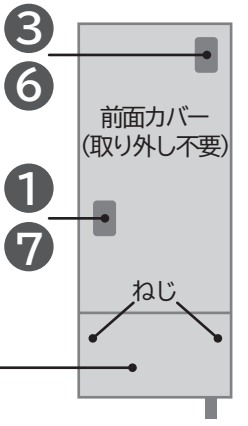
5 **タンク専用止水栓を開ける**

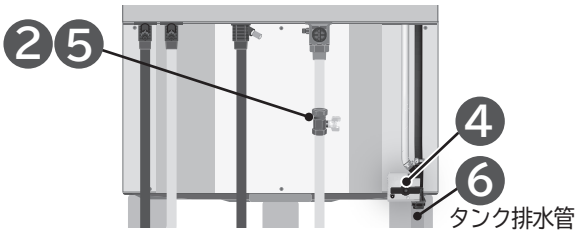
6 **タンク排水管からお湯が出てきたら、逃し弁のレバーを下げる**
- お湯が止まらない場合は、レバーを２～3回上げ下げしてください。

7 **漏電遮断器のスイッチ（電源スイッチ）を「ON」にする**

貯湯ユニットに脚（配管）カバーが付いている場合は、ねじを外し、脚（配管）カバーを外して作業し、作業終了後は、脚（配管）カバーを取り付けてください。

お願い
給湯機周囲の外気温が0℃以下になるとタンク排水栓が凍結している場合があります。凍結している場合は無理に操作しないでください。破損の原因になります。





⚠警告



お湯に手を触れない
・排水時は熱湯が出る場合がありやけどの原因になります。

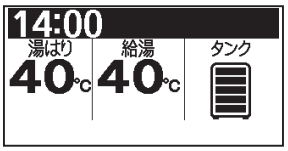
給湯機の設定

現在年月日・現在時刻の設定

●給湯機を使用するにあたっては、現在年月日と現在時刻の設定が必要です。
●この設定は、深夜時間帯の運転、日々のお湯の使用量に応じた量のお湯を沸かす運転、予約運転など、いろいろな機能を正しく運転するための設定です。

ご注意

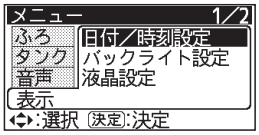
リモコンの時刻表示が現在時刻になっていないと電気料金が割高になる場合があります。
月に1度は確認してください。



現在年月日と現在時刻の設定

準備 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1 ＜＞＾＿を押し、「表示」の「日付／時刻設定」を選択し



決定 を押す

「日付設定」画面になります

2 ＜＞＾＿を押し、「年」「月」「日」を選択しながら、現在日付を設定し



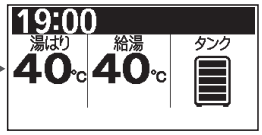
決定 を押す

「時刻設定」画面になります

3 ＜＞＾＿を押し、「時」「分」を選択しながら、現在時刻を設定し



決定 を押す ••• 設定完了 •••▶

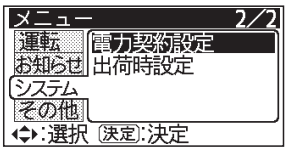


時間帯別電灯契約の「契約番号」の設定

●ご使用する電力料金メニューに対応した契約番号を設定します。（工場出荷時は「04」が設定されています）

準備 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

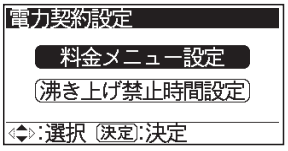
1 を押し、「システム」の「電力契約設定」を選択し



決定 を押す

「電力契約設定」画面になります

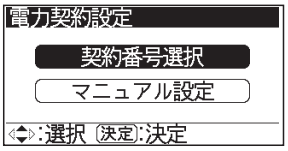
2 を押し、「料金メニュー設定」を選択し



決定 を押す

「料金メニュー設定」画面になります

3 を押し、「契約番号選択」を選択し



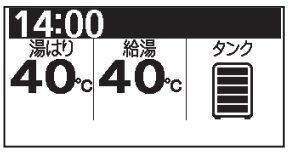
決定 を押す

「契約番号」選択画面になります

4 を押し、「契約番号」を選択し



決定 を押す ▶ 設定完了 ▶



お願い

契約番号の設定が誤っていると、電気料金が割高になる場合があります。契約内容をよく確かめて設定してください。

なお、この契約番号は日立独自の番号で、電力会社が定めたものではありません。

マニュアル設定が設定されているときは →P.46、契約番号は「M」が表示します。マニュアル設定の設定内容を継続する場合は、「M」表示のまま「決定」ボタンを押してください。

給湯機の設定（つづき）

■契約番号と電力料金メニューの時間帯区分の概要（2026年10月現在）

●各契約の内容詳細については、各電力会社にお問い合わせください。
●時間帯の名称のグラフの上の数字は時刻です。Aゾーン、Bゾーン、Cゾーンの用語は、説明のための日立独自用語で、電力会社が定めたものではありません。
●契約する電力料金メニューが下記の表にない場合は、マニュアル設定を行ってください。→P.46

電力会社	電力料金メニューの名称	契約番号
北海道電力	エネとくスマートプラン	06
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯22時～6時）	07
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯23時～7時）	08
	ドリーム8、ドリーム8エコ（深夜時間帯24時～8時）	09
	eタイム3	12
	eタイム3（Sプラン）（午後時間帯13時～18時）	12
	eタイム3（Sプラン）（午後時間帯14時～19時）	22
	eタイム3（Sプラン）（午後時間帯15時～20時）	23
	eタイム3プラス	12
	ふらっとソーラープラン	28
	エネとくスマートlifeプラン	28
東北電力	やりくりナイト8	00
	ピークシフト季節別時間帯別電灯	10
	やりくりナイト10、やりくりナイトS	06
	よりそう＋シーズン&タイム	15
	よりそう＋ナイト12	14
	よりそう＋ナイト&ホリデー	06
	よりそう＋ナイト8	00
	よりそう＋ナイト10	06
	よりそう＋ナイトS	06
	よりそう＋サマーセーブ	10
	よりそう＋スマートタイム	06
	よりそう＋おひさまeバリュー	28
東京電力エナジーパートナー	おトクなナイト8	00
	電化上手	02
	おトクなナイト10	06
	スマートライフプラン※1	13
	スマートライフS※1	13
	スマートライフL※1	13
	夜トク8	00
	夜トク12	14
中部電力ミライズ	タイムプラン	00
	ピークシフト電灯	10
	Eライフプラン	04
	スマートライフプラン	05
	スマートライフプラン（朝トク）	16
	スマートライフプラン（夜トク）	17
	昼とくプラン	27
北陸電力	エルフナイト8	00
	エルフナイト10プラス	05
	エルフナイト10	06
	くつろぎナイト12	20
関西電力	時間帯別電灯	00
	はぴeタイム	02
	はぴeタイムR	02
	季時別電灯PS	10
	eスマート10	11
中国電力	エコノミーナイト	01
	ファミリータイム	03
	電化Styleコース	14
	ナイトホリデーコース	14
	ひるeco電化コース	26
四国電力	電化Deナイト、得トクナイト	00
	スマートeプラン	04
	ピークシフト型時間帯別電灯	10
	スマートeプラン[タイプL＋]	21
	スマートeプラン[タイプH＋]	21
	時間帯別eプラン（引越しの方のみ）	00
	でんかeプラン	19
	でんかeマンションプラン	19
	昼トクeプラン	25
九州電力	時間帯別電灯（8時間型）	00
	季時別電灯	05
	時間帯別電灯、高負荷率型電灯	06
	ピークシフト電灯	11
	電化でナイト・セレクト21	18
	電化でナイト・セレクト22	06
	電化でナイト・セレクト23	19
	おひさま昼トクプラン	24
沖縄電力	時間帯別電灯	00
	Eeらいふ	02
	Ee ホームフラット	00
	Ee ホームホリデー	02
	Ee スマート	00

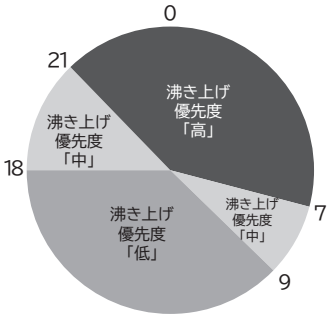
契約番号	時間帯区分
00	0 深夜時間帯 Aゾーン 7 昼間時間帯 Bゾーン 23 24 深夜
01	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 23 24 深夜
02	0 深夜時間帯 Aゾーン 7 朝晩・リビング Bゾーン 10 昼間時間帯 Cゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン 23 24 深夜
03	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 朝晩・リビング Bゾーン 10 昼間時間帯 Cゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン 23 24 深夜
04	0 深夜時間帯 Aゾーン 7 朝晩・リビング Bゾーン 9 昼間時間帯 Cゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン 23 24 深夜
05	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 朝晩・リビング Bゾーン 10 昼間時間帯 Cゾーン 17 朝晩・リビング Bゾーン 22 24 深夜
06	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 22 24 深夜
07	0 深夜時間帯 Aゾーン 6 昼間時間帯 Bゾーン 16 ピーク Cゾーン 18 昼間時間帯 Bゾーン 22 24 深夜
08	0 深夜時間帯 Aゾーン 7 昼間時間帯 Bゾーン 16 ピーク Cゾーン 18 昼間時間帯 Bゾーン 23 24 深夜
09	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 16 ピーク Cゾーン 18 昼間時間帯 Bゾーン 24
10	（7月1日～9月30日） 0 深夜時間帯 Aゾーン 7 昼間時間帯 Bゾーン 13 ピーク Cゾーン 16 昼間時間帯 Bゾーン 23 24 深夜 （10月1日～翌6月30日） 0 深夜時間帯 Aゾーン 7 昼間時間帯 Bゾーン 23 24 深夜
11	（7月1日～9月30日） 0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 13 ピーク Cゾーン 16 昼間時間帯 Bゾーン 22 24 深夜 （10月1日～翌6月30日） 0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 22 24 深夜
12	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 13 ピーク Cゾーン 18 昼間時間帯 Bゾーン 22 24 深夜
13※1	0 昼間 1 深夜時間帯 Aゾーン 6 昼間時間帯 Bゾーン 24
14	0 深夜時間帯 Aゾーン 9 昼間時間帯 Bゾーン 21 24 深夜時間帯 Aゾーン
15	（12月1日～翌2月29日） 0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 16 ピーク Cゾーン 18 昼間時間帯 Bゾーン 22 24 深夜 （3月1日～11月30日） 0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 10 ピーク Cゾーン 17 昼間時間帯 Bゾーン 22 24 深夜
16	0 深夜時間帯 Aゾーン 9 昼間時間帯 Bゾーン 10 昼間時間帯 Cゾーン 17 昼間時間帯 Bゾーン 23 24 深夜
17	0 深夜時間帯 Aゾーン 7 昼間時間帯 Bゾーン 10 昼間時間帯 Cゾーン 17 昼間時間帯 Bゾーン 21 24 深夜時間帯 Aゾーン
18	0 深夜時間帯 Aゾーン 7 昼間時間帯 Bゾーン 21 24 深夜時間帯 Aゾーン
19	0 深夜時間帯 Aゾーン 9 昼間時間帯 Bゾーン 23 24 深夜
20	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 20 24 深夜時間帯 Aゾーン
21	0 深夜時間帯 Aゾーン 9 ピーク Cゾーン 17 昼間時間帯 Bゾーン 23 24 深夜
22	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 14 ピーク Cゾーン 19 昼間時間帯 Bゾーン 22 24 深夜
23	0 深夜時間帯 Aゾーン 8 昼間時間帯 Bゾーン 15 ピーク Cゾーン 20 昼間時間帯 Bゾーン 22 24 深夜
24※2	0 Bゾーン 8 Cゾーン 10 Aゾーン 16 Cゾーン 18 Bゾーン 24
25※2	0 Bゾーン 9 Aゾーン 15 Bゾーン 24
26※2	0 Bゾーン 8 Aゾーン 16 Bゾーン 24
27※2	0 Bゾーン 8 Cゾーン 10 Aゾーン 17 Cゾーン 22 Bゾーン 24
28※2	0 Bゾーン 9 Aゾーン 16 Bゾーン 24

※1 タンク内の残湯量によっては、22～1時で沸き上げをする場合があります。
※2 外気温度によってはBゾーン時間帯で沸き上げをする場合があります。

時間帯区分の「マニュアル」設定

●電力料金メニューの「契約番号」の設定の電力料金メニュー表にない時間帯の区分 →P.45 で給湯機を使用する場合に設定します。

次の設定手順は、時間帯を下図の円グラフのように設定する場合です。ご使用する電力料金メニューに応じて設定してください。



- 時間帯の数　4つ
- 1つ目の時間帯終了時間：7時
- 2つ目の時間帯終了時間：9時
- 3つ目の時間帯終了時間：18時
- 4つ目の時間帯終了時間：21時
- 1つ目の時間帯の沸き上げ優先度：高
- 2つ目の時間帯の沸き上げ優先度：中
- 3つ目の時間帯の沸き上げ優先度：低
- 4つ目の時間帯の沸き上げ優先度：中

沸き上げ優先度	設定する時間帯
高	タンク全量を沸き上げる時間帯
中	「湯切れ防止」運転を動作させる時間帯
低	極力沸き上げ運転をしたくない時間帯

準備

リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1

を押し、「システム」の「電力契約設定」を選択し

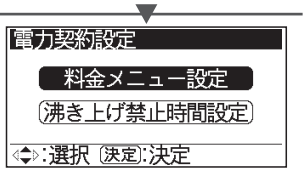


決定 **を押す**

「電力契約設定」画面になります

2

を押し、「料金メニュー設定」を選択し

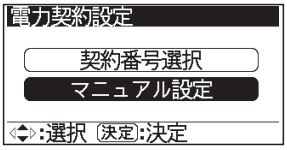


決定 **を押す**

「料金メニュー設定」画面になります

3

を押し、「マニュアル設定」を選択し



決定 **を押す**

「変更確認」画面になります

次ページ **4** へ続く

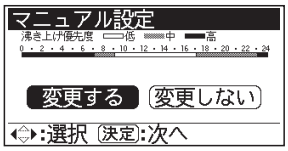
お願い

時間帯の数と沸き上げ優先度の設定が誤っていると、電気料金が割高になる場合があります。契約内容をよく確かめて設定してください。

給湯機の設定（つづき）

時間帯区分の「マニュアル」設定（つづき）

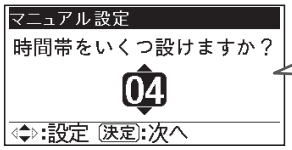
4 〈 〉を押し、「変更する」を選択し



決定 を押す

「時間帯」の設定画面になります

5 ∧ ∨ を押し、「時間帯」の設定数を選択し



「時間帯」は「02」～「04」で選択できます。

決定 を押す

1つ目の時間帯の「終了時間」設定画面になります

6 ∧ ∨ を押し、「時」を選択しながら、1つ目の時間帯の終了時間を設定し



時間は1時間単位で設定できます。

決定 を押す

2つ目の時間帯の「終了時間」設定画面になります

7 ∧ ∨ を押し、「時」を選択しながら、2つ目の時間帯の終了時間を設定し



決定 を押す

3つ目の時間帯の「終了時間」設定画面になります

8 ∧ ∨ を押し、「時」を選択しながら、3つ目の時間帯の終了時間を設定し



決定 を押す

4つ目の時間帯の「終了時間」設定画面になります

9 ∧ ∨ を押し、「時」を選択しながら、4つ目の時間帯の終了時間を設定し



決定 を押す

「時間帯終了時間」確認画面になります

次ページ 10 へ続く

10 時間帯の数とそれぞれの終了時間が正しいことを確認し



「戻る」を選択した場合、9の画面に戻ります。

決定 **を押す**

「沸き上げ優先度」の設定画面になります

11 ^ v を押し、「沸き上げ優先度」を選択し



決定 **を押す**

2つ目の時間区分の「沸き上げ優先度」の設定画面になります

沸き上げ優先度は下表を参考に設定してください。

沸き上げ優先度	設定する時間帯
高	タンク全量を沸き上げる時間帯
中	「湯切れ防止」運転を動作させる時間帯
低	極力沸き上げ運転をしたくない時間帯

沸き上げ優先度「高」が設定できる時間帯は1つです。

12 ^ v を押し、「沸き上げ優先度」を選択し



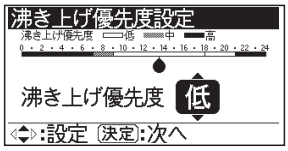
決定 **を押す**

3つ目の時間区分の「沸き上げ優先度」の設定画面になります

お知らせ

タンク全量沸き上げは、沸き上げ優先度「高」の終了時間を目標に沸き上げ完了になるように行います。
そのため、沸き上げ優先度「高」の時間は8時間以上設定することをおすすめします。
タンク内の残湯量によっては「高」の時間帯でタンク全量沸き上げできない場合があります。

13 ^ v を押し、「沸き上げ優先度」を選択し



決定 **を押す**

4つ目の時間区分の「沸き上げ優先度」の設定画面になります

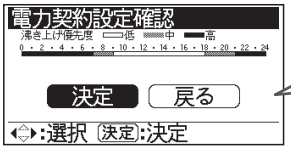
14 ^ v を押し、「沸き上げ優先度」を選択し



決定 **を押す**

「沸き上げ優先度」確認画面になります

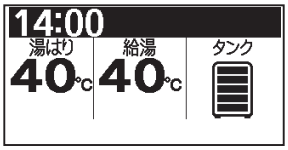
15 各時間帯の沸き上げ優先度が正しいことを確認し



「戻る」を選択した場合、14の画面に戻ります。

決定 **を押す**

設定完了



給湯機の設定（つづき）

沸き上げ禁止設定

●設定した時間帯の沸き上げ運転を禁止する機能です。（工場出荷時は「切」が設定されています。）

次の設定手順は、沸き上げ禁止時間帯を2つ設定する場合です。

準備 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

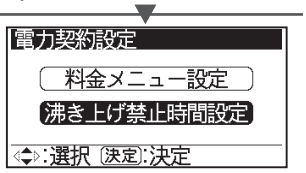
1 を押し、「システム」の「電力契約設定」を選択し



決定 を押す

「電力契約設定」画面になります

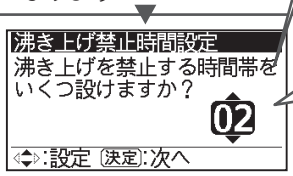
2 を押し、「沸き上げ禁止時間設定」を選択し



決定 を押す

「禁止時間帯数」の設定画面になります

3 を押し、「時間帯」の設定数を選択し



決定 を押す

1つ目の「禁止時間帯」の設定画面になります。

4 を押し、1つ目の沸き上げ運転を禁止する時間を選択し



決定 を押す

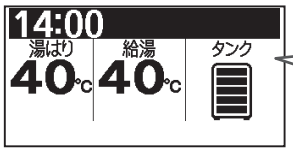
2つ目の「禁止時間帯」の設定画面になります。

5 を押し、2つ目の沸き上げ運転を禁止する時間を選択し



決定 を押す

設定完了

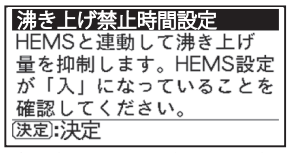


お知らせ

沸き上げ禁止時間帯の時でも、外気温度が低い時、凍結を防ぐためにヒートポンプユニットが運転する場合があります。

「切」「01」～「03」で設定できます。
「切」を選択した場合は、設定完了となり、標準画面に戻ります。

HEMS機能を有効にしている場合は、以下の画面になります。

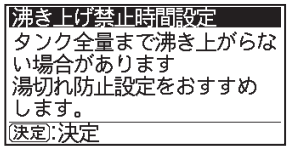


以降の操作は、別売品に同梱の取扱説明書を参照ください。

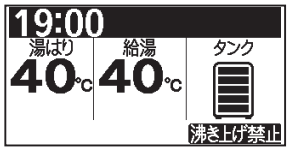
1つの時間帯で沸き上げを禁止する時間は30分～4時間の30分刻みで設定できます。

お知らせ

沸き上げ禁止時間を、Aゾーン時間帯 →P.45 沸き上げ優先度「高」の時間 →P.48 と重なる時間で設定した場合、以下の画面が表示します。



禁止時間帯の時は、標準画面に「沸き上げ禁止」が表示します。



タンクに自動的に沸き上げるお湯の量の設定

沸き上げ設定

●深夜時間帯に自動的にタンクに沸き上げるお湯の量の設定です。下の「沸き上げ設定の目安」を参考に設定してください。
（工場出荷時は「おまかせ節約」が設定されています）

沸き上げ設定の目安

沸き上げ設定	沸き上げ内容と設定の目安
おまかせ節約 （約65～90℃）	昨日までの7日間の平均使用量に応じた湯量を深夜時間帯に沸き上げます。 お湯の余りが少なくなるように、少なめに沸き上げる節約設定です。 **●お湯の使用量が少ない場合の設定です。** ※まずはこの設定で使い、頻繁にお湯が不足（湯切れ）する場合は「おまかせ多め」に、頻繁にお湯が余る場合は「おまかせ小世帯」に設定を変更してください。
おまかせ多め （約70～90℃）	昨日までの7日間の最大使用量に応じた湯量を深夜時間帯に沸き上げます。 お湯が不足（湯切れ）しにくいように、多めに沸き上げる設定です。 **●お湯の使用量が多い場合の設定です。** ※頻繁にお湯が余る場合は「おまかせ節約」に設定を変更してください。
おまかせ小世帯 （約65～90℃）	「おまかせ節約」よりも少なめの湯量を深夜時間帯に沸き上げます。 1～2人世帯でのご使用に適した湯量を沸き上げる設定です。 **●1～2人世帯でのご使用に適した設定です。** ※頻繁にお湯が不足する場合は「おまかせ節約」に設定を変更してください。 ※2日連続で「タンク沸き増し」の操作、または「湯切れ防止」が動作した場合、表示は「おまかせ小世帯」のままで、「おまかせ節約」の運転を行います。2日連続で「タンク沸き増し」の操作、または「湯切れ防止」が動作せず、深夜時間帯開始時に「タンク残湯量メモリ」が3個以上点灯している場合に、「おまかせ小世帯」に戻ります。 ※「おまかせ小世帯」は、前日のタンクのお湯の残湯量により、深夜時間帯沸き上げ終了時点でタンク残湯量目盛が5個点灯（満タン）にならず、3個点灯、または4個点灯の場合があります。

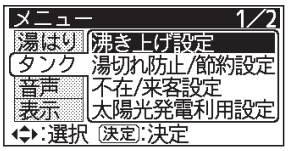
温度は、ヒートポンプユニットで沸き上げるお湯の温度です。

タンクにたまるお湯の温度は、タンクまでの配管の長さ・保温状態や外気温などにより、この温度より低くなります。

準備 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1 ＜ ＞ を押し、「タンク」の「沸き上げ設定」を選択し

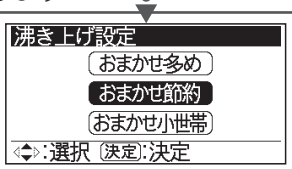
決定 を押す



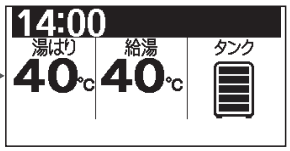
「沸き上げ設定」画面になります

2 ＜ ＞ を押し、「おまかせ節約」または「おまかせ多め」、「おまかせ小世帯」を設定し

決定 を押す

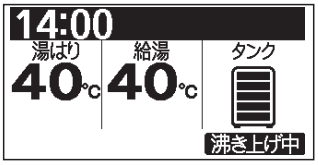


設定完了



お知らせ

自動沸き上げ運転中は、表示画面に 沸き上げ中 が表示します。



給湯機の設定（つづき）

湯切れ防止/節約設定

●湯切れ防止は、タンクのお湯が減ると、自動的に沸き上げるお湯の量の設定です。
●下表を参考に設定してください。（工場出荷時は「少量」が設定されています）

設定の目安	お湯の使用量が少ない ⟷ お湯の使用量が多い		
設定	切	少量	全量
運転の内容	「湯切れ防止」運転しません	タンクの残湯量が少なくなると、追加でお湯を約７5L増やします  残湯量目盛イメージ	タンクのお湯を約75L使うと、お湯の量を満タンまで増やします  残湯量目盛イメージ

お知らせ

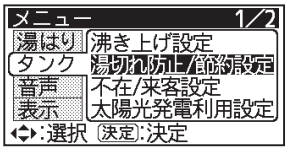
残湯量目盛は、タンクのお湯の温度を検知して表示しているため、目盛が多く表示されている場合でも「湯切れ防止」運転を行うときがあります。

●節約設定は、「湯切れ防止」を設定したとき、残湯量が少なくなっても、設定した時刻から翌日の深夜時間帯（Aゾーン）終了時刻まで「湯切れ防止」運転を休止して、電気料金を節約する設定です。朝７時から設定できます。（工場出荷時は「しない」が設定されています）

準備 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1 ＜ ＞ ∧ ∨ を押し、「タンク」の「湯切れ防止／節約設定」を選択し

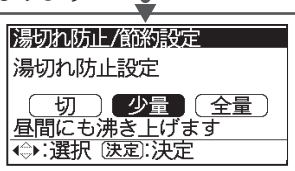
決定 を押す



「湯切れ防止設定」画面になります

2 ＜ ＞ を押し、「切」「少量」「全量」のいずれかを選択し

決定 を押す

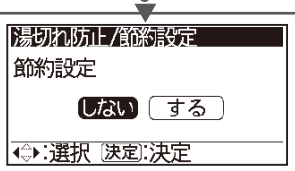


「節約設定」画面になります

●既に設定されている内容を反転表示します。
●湯切れ防止設定を「切」にすると「湯切れ防止」機能ははたらきませんので、湯切れする可能性があります。
●「切」を選択し、「決定」ボタンを押すと「標準画面」に戻り、ここで設定は完了します。

3 ＜ ＞ を押し、「節約設定」を選択し

決定 を押す

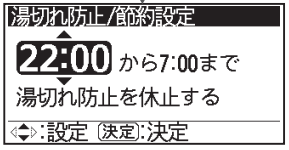


「する」を選択すると「時刻入力」画面になります

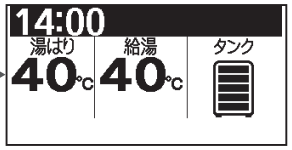
●既に設定されている内容を反転表示します。
●「しない」を選択し、「決定」ボタンを押すと「標準画面」に戻り、ここで設定は完了します。

4 ∧ ∨ を押し、湯切れ防止を休止する開始時刻を設定し

決定 を押す



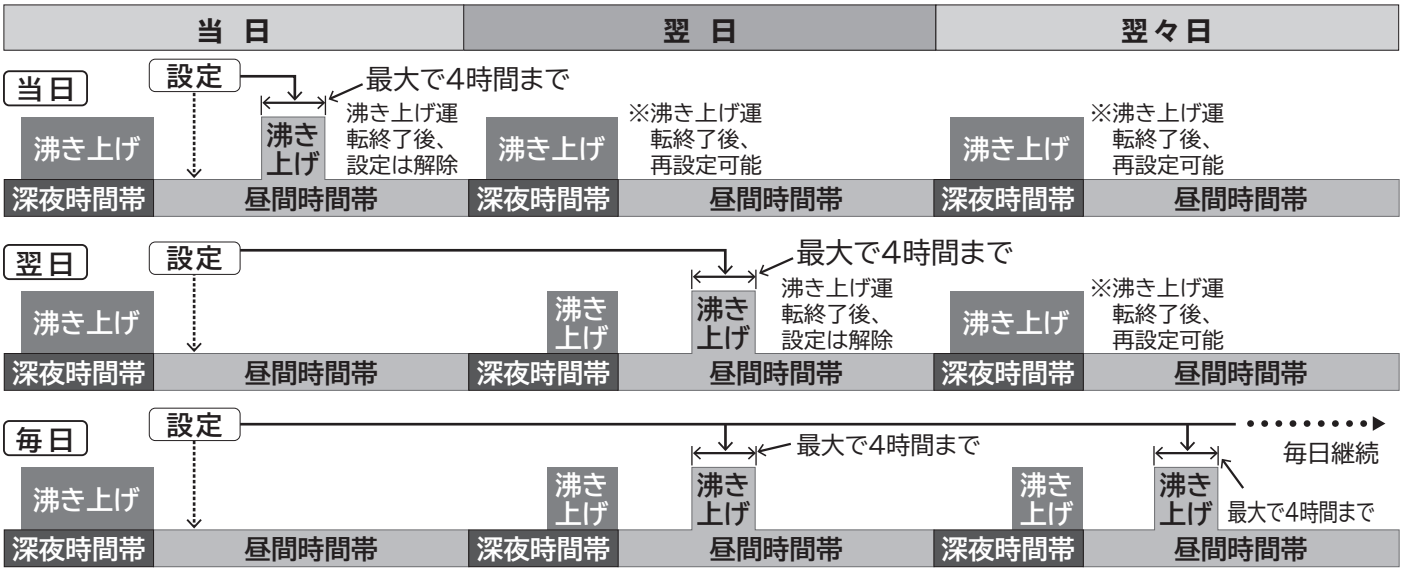
設定完了



●30分刻みで設定できます。
●時刻を設定するとその時刻以降は翌日のBゾーン開始時刻まで「湯切れ防止」機能は、はたらきませんので湯切れする可能性があります。

「太陽光発電利用」機能の使いかた

●太陽光発電で発電した電力を、貯湯タンクの沸き上げに使用したいときに設定する機能です。
昼間に沸き上げ運転できるように、深夜時間帯に沸き上げるお湯の量を少なく調整します。
●【当日】【翌日】【毎日】から選択します。
●設定方法は →P.53,54 をご覧ください。



お知らせ

●アプリを利用した天気連動を設定できます。天気連動の設定方法は右記のコードからご確認ください。
※ご利用の際は、通信費などの費用が掛かります。
※内容は予告なく変更、中止することがあります。

ご注意

●昼間の沸き上げ運転を実施しないと湯切れが発生しますので、設定当日の天気が悪く、太陽光による発電ができない場合でも、昼間の沸き上げ運転を実施します。この場合、電力会社からの電気で沸き上げるため、電気料金が高くなります。

●太陽光発電を設置していないご家庭で設定すると、昼間の沸き上げ運転が増えて、電気料金が高くなります。
●太陽光発電の発電量がエコキュートの消費電力量より少ない場合は、電力会社からの電気も使用して沸き上げるため、電気料金が高くなります。
●「当日」の設定をしたとき、夜間に沸き上げるお湯の量を少なく調整していないため、昼間の沸き上げ運転が実施できない場合があります。
●貯湯タンク内のお湯の量によって、昼間の沸き上げ運転が設定した時間よりも早く終了することがあります。
●給湯機の使用開始から7日間はお湯の使用量を学習しているため、昼間の沸き上げ運転をしないことがあります。
●停電が発生しても、設定は保存されています。
●太陽光発電利用設定を取り消すと、湯切れする場合があります。湯切れしないように「タンク沸き増し」ボタンを押して、タンクの沸き増し運転を行ってください。
●「太陽光発電利用」機能は、電力契約設定の「深夜時間帯(Aゾーン)」、「沸き上げ優先度(高)」で行う沸き上げ運転をその他の時間帯で行う機能ですので、「深夜時間帯(Aゾーン)」、「沸き上げ優先度(高)」の時間では、「太陽光発電利用」の時間設定はできません。
●「太陽光発電利用」は、太陽光発電の買取価格と深夜時間帯の電気料金単価を確認のうえ、設定してください。

給湯機の設定（つづき）

次の設定手順は、１１月２７日の「翌日」のみ太陽光発電を利用した沸き上げ運転を実施する場合で、「深夜時間帯(Aゾーン)」は、23:00～7:00に設定されている例です。
この設定では１１月２８日の深夜から朝方に沸き上げるお湯の量を少なく調整し、１１月２８日の10時～１４時に太陽光発電を利用した沸き上げ運転を行い、昼間の沸き上げ運転終了後に、通常の沸き上げ設定に戻ります。

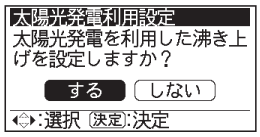
準備 **リモコンの扉を開け、メニューボタンを押す**

1 **を押し、「タンク」の「太陽光発電利用設定」を選択し**



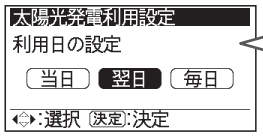
決定 **を押す**
「太陽光発電利用設定」設定画面になります

2 **を押し、「する」を選択し**



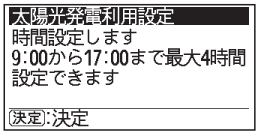
決定 **を押す**
「利用日数」設定画面になります

3 **を押し、利用日を「翌日」に設定し**



決定 **を押す**
時間設定の確認画面になります

4 **表示内容を確認し**



決定 **を押す**
「昼間の沸き上げ運転開始時刻」設定画面になります

5 **を押し、昼間沸き上げ運転開始時刻の10:00を設定し**



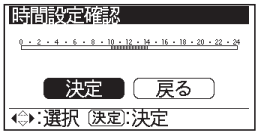
決定 **を押す**
「昼間の沸き上げ運転終了時刻」設定画面になります

6 **を押し、昼間沸き上げ運転終了時刻の14:00を設定し**



決定 **を押す**
「時間設定」確認画面になります

7 **昼間沸き上げ運転設定時間を確認後**



決定 **を押す**
「日付」確認画面になります

▶ 次ページ **8** へ続く

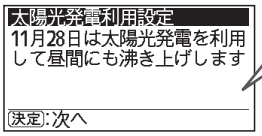
・当日：設定した当日のみ運転し、昼間運転終了後、設定が解除されます。
・翌日：設定した翌日のみ運転し、昼間運転終了後、設定が解除されます。
・毎日：設定後、毎日運転します。

・「当日」設定は、6:00～16:00の間に設定できます。
・「翌日」設定は、深夜時間帯(Aゾーン)における沸き上げ運転が開始された後では設定できません。深夜時間帯(Aゾーン)の終了後、再び設定できます。
・「毎日」設定は、設定された時間によっては翌日の昼間沸き上げを行わない場合があります。

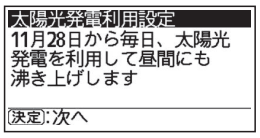
8 太陽光発電を利用した沸き上げ運転を行う日付を確認後

決定 を押す

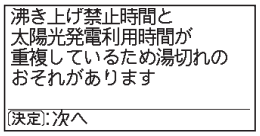
「湯切れ防止」確認画面になります



「毎日」を設定した場合は、下記の表示となります。

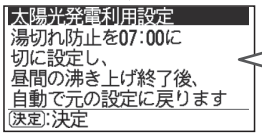


沸き上げ禁止時間と太陽光発電利用時間が重複している場合、重複している時間内は沸き上げ運転ができません。太陽光発電利用による沸き上げ運転を優先する場合は、沸き上げ禁止時間か、太陽光発電利用の設定時間を変更してください。→P.49



9 「湯切れ防止」機能の設定変更を確認後

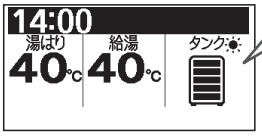
決定 を押す



「湯切れ防止」機能が「少量」または「全量」に設定されている場合、太陽光発電利用で設定した時間以外に沸き上げ運転を行う場合があるため、「湯切れ防止」を「切」に設定します。

10

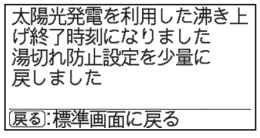
設定完了



設定されている時、「☀」マークが点灯します。

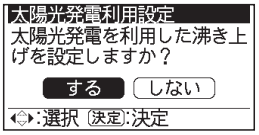
お知らせ

「湯切れ防止」を設定している場合 →P.51、太陽光発電利用の沸き上げ運転が終了すると、下記のように自動的に再設定します。



利用日・時刻の変更・取消しは

1 、2 の操作をする



〈 〉を押し、「する」「しない」のいずれかを選択し

する → 決定 を押す → **3 ～ 10 の操作で利用日・時刻を再設定します**

しない → 決定 を押す → **「太陽光発電利用」設定の予約を取り消します**

給湯機の設定（つづき）

音声案内の設定

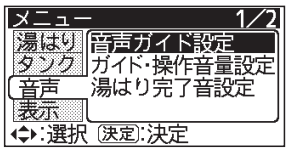
音声ガイド設定

●音声ガイドする範囲の設定です。（工場出荷時は「しんせつ」が設定されています）

準備 リモコンの扉を開け、 メニュー ボタンを押す

1 を押し、「音声」の「音声ガイド設定」を選択し

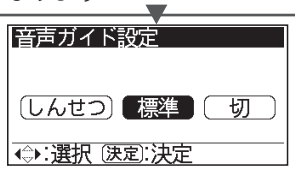
決定 を押す



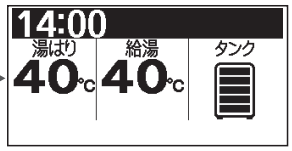
「音声ガイド設定」画面になります

2 を押し、「しんせつ」「標準」「切」のいずれかを選択し

決定 を押す



設定完了



設定	ガイド内容
しんせつ	操作方法ガイド 機能運転ガイド 設定内容ガイド 運転停止ガイド 安全に関わるガイド
標準	運転停止ガイド 安全に関わるガイド
切	ガイドなし

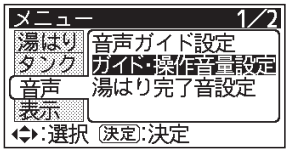
ガイド・操作音量設定

●音声ガイドや操作音量（ボタンを押したときに鳴る）の音量設定です。
●お好みの音量に設定できます。

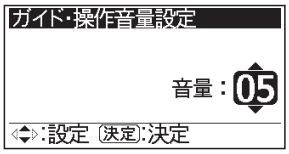
準備 リモコンの扉を開け、 メニュー ボタンを押す

1 を押し、「音声」の「ガイド・操作音量設定」を選択し

決定 を押す

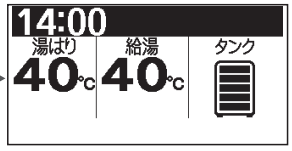


2 を押し、音量を設定し



決定 を押す

設定完了



音量は00～06で変更できます。
工場出荷時は、音量「03」に設定されています。
「00」に設定すると消音になります。

お知らせ
同じ音量でも深夜など雑音が少ない環境では大きく聞こえたり、雑音が多い昼間は聞き取りにくくなることがあります。

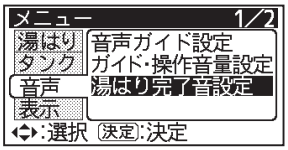
湯はり完了音の設定

●この設定は、「湯量お知らせ」運転終了時に流れる完了音の設定です。

準備 リモコンの扉を開け、 メニュー ボタンを押す

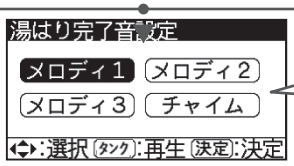
1 を押し、「音声」の「湯はり完了音設定」を選択し

決定 を押す



「湯はり完了音設定」画面になります

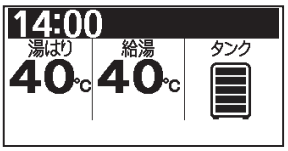
2 を押し、「湯はり完了音」を選択し



「タンク沸き増し」ボタンを押すと選択している完了音を再生します。

決定 を押す

設定完了



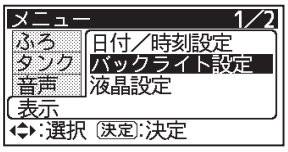
バックライト点灯時間の設定

●この設定は、リモコンボタン操作時、給湯時に点灯するバックライトの点灯時間の設定です。
●「消灯時」の設定で「入」を選択すると、設定した点灯時間が経過した後、バックライトを減光します。
「切」を選択すると、設定した点灯時間が経過した後、バックライトを消灯します。

準備 リモコンの扉を開け、 メニュー ボタンを押す

1 を押し、「表示」の「バックライト設定」を選択し

決定 を押す



「バックライト設定」画面になります

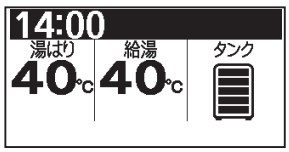
2 を押し、設定したい動作を選択します



を押し、「切」「入」または点灯時間を選択します

3 決定 を押す

設定完了



給湯機の設定（つづき）

工場出荷時設定

●下表の設定項目を工場出荷時の設定にします。

設定項目	工場出荷時設定	説明頁
給湯温度	40℃	→P.22
湯はり温度	40℃	→P.23
湯はり湯量	200L	
湯はり完了音	メロディ1	→P.56
沸き上げ	おまかせ 節約	→P.50
湯切れ防止	少量	→P.51
節約設定	しない	
電力契約番号	04	→P.44
不在時沸き上げ停止予約	なし	→P.32
不在時沸き上げ停止予約の開始日	なし	
不在時沸き上げ停止予約の終了日	なし	

設定項目	工場出荷時設定	説明頁
来客時満タン沸き上げ予約	なし	→P.33
来客時満タン沸き上げ予約の開始日	なし	
来客時満タン沸き上げ予約の終了日	なし	
太陽光発電利用設定	しない	→P.52
音声ガイド	しんせつ	→P.55
ガイド・操作音量	03	→P.55
コントラスト	レベル8	→P.12
シャワーアラーム設定	しない	→P.28
バックライト設定【ボタン操作時】	1分	→P.56
バックライト設定【給湯時】	切	
バックライト設定【消灯時】	切	
液晶表示画面	通常	→P.58

準備 リモコンの扉を開け、メニュー ボタンを押す

1 ＜ ＞ を押し、「システム」の「出荷時設定」を選択し

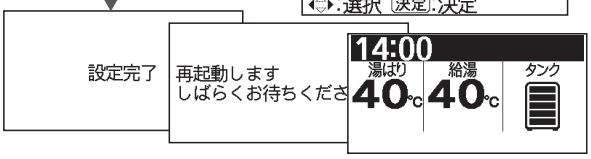
決定 を押す

「出荷時設定」画面になります



2 ＜ ＞ を押し、「はい」を選択し

決定 を押す



「いいえ」を選択して「決定」を押すと、現在の設定を継続します。

お願い

工場出荷時の設定に戻したあとは、上記の各設定をやり直してください。 →P.20

お願い

- ●工場出荷時の設定に戻したあとは、上記の各設定をやり直してください。
- ●別売のHEMS接続アダプター（有線）をご使用されている場合、「HEMS接続設定」を「有効」に設定する必要があります。設定方法はHEMS接続アダプター（有線）同梱の取付説明書をご覧ください。
- ●別売の無線LAN接続用アダプターをご使用されている場合、「無線LAN接続設定」を「有効」に設定する必要があります。設定方法は無線LAN接続用アダプター同梱の取付説明書をご覧ください。
- ●給湯機を廃棄したり第三者へ譲渡する場合は、各種設定情報を削除するため、「出荷時設定」を行ってください。アプリ機能を使用している場合は、「登録情報の全削除」（無線LAN接続ガイドP15）を行ってください。

液晶表示画面の設定

●リモコンの液晶表示は、白地に黒文字の「通常画面」と、黒地に白文字の「白黒反転画面」の2種類があります。
●この設定は、リモコンの液晶表示画面の設定を行います。

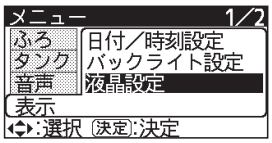
準備 **リモコンの扉を開け、** メニュー **ボタンを押す**

1

を押し、「表示」の「液晶設定」を選択し

決定 **を押す**

「液晶設定」画面になります

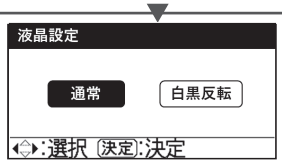


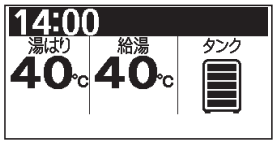
2

を押し、「通常」「白黒反転」を選択し

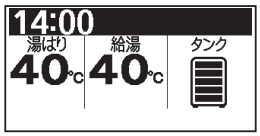
決定 **を押す**

設定完了

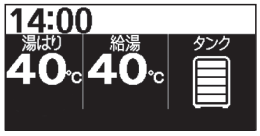




「通常」表示画面



「白黒反転」表示画面

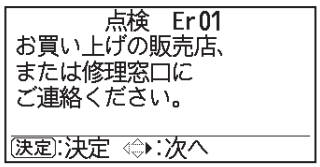


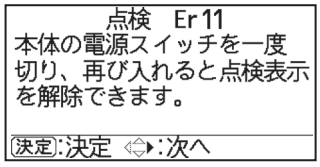
お困りのときは

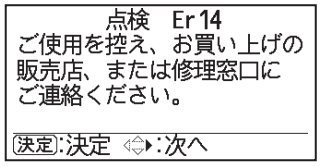
リモコンにこんな表示が表示されたときは

●下記の点検表示が表示された場合は点検が必要なため、お買い上げの販売店、または「弊社の修理窓口」にご連絡ください。

点検表示の例



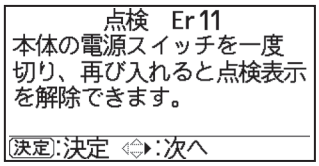




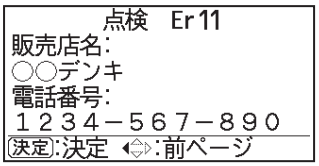
点検表示	点検必要箇所	点検表示の解除方法	点検表示解除後の給湯機使用
Er 01~14	貯湯ユニット関係	点検表示内容に従い解除（標準画面に戻す）する	お買い上げの販売店、または「弊社の修理窓口」にご連絡ください。→P.66 特に「Er14」「Er17」「Er26」「Er28」「Er38」「Er56」「Er64」「Er68」「Er72」の点検表示が表示された場合は、やけどをするおそれがあるため、ご使用を控え、上記へ修理依頼をしてください。
Er 16~22			
Er 24~99			
HE 05~11	ヒートポンプユニット関係	点検表示内容に従い解除（標準画面に戻す）する	
HE 01~04、12~16、18、19		「メニュー」ボタンを3秒以上長押し、解除（標準画面に戻す）する	
HE 22~44			
HE 17、20、21	ヒートポンプ配管関係		
C 09			

お知らせ

販売店がリモコンに連絡先の登録を行っている場合は、点検表示画面のときに ＞ を押すと、連絡先画面が表示されます。



＞ を押す

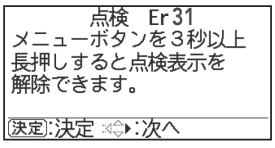


点検表示の解除（標準画面に戻す）のしかた

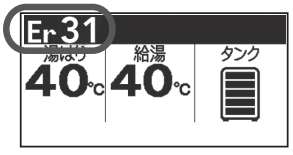
●解除は台所リモコンで行います。

準備 リモコンの扉を開ける

1

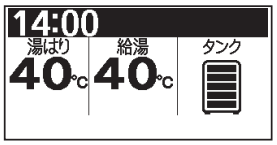


決定 を押す



2

メニュー を3秒以上長押しする



お知らせ

処置しても、なお点検表示が出る場合や原因が不明な場合は、部品故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店または「弊社の修理窓口」にご連絡ください。

お問い合わせ項目もくじ

1 貯湯ユニット（タンク）関係 ・・・ 61

2 ヒートポンプユニット関係 ・・・ 61

3 給湯関係 ・・・・・・・・・・・・ 62 63

4 ふろ関係 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63

5 リモコン関係 ・・・・・・・・・ 63 64

6 太陽光発電利用 ・・・・・・・・・・・・・ 64

7 無線LAN ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64

よくあるお問い合わせ

タンク排水管からお湯が出ている
⇒沸き上げ中はお湯が出ます。 →P.61

ヒートポンプ排水管から水が出ている
⇒沸き上げ中は水が出ます。 →P.61

ヒートポンプユニットが昼間時間帯に運転している
⇒お湯が不足しないように沸き上げを行っています。「湯切れ防止」が設定されていると、運転する場合があります。 →P.61

混合水栓を開けても、すぐにお湯が出ない
⇒給湯配管内の残留水が先に出ます。 →P.62

シャワーや蛇口からのお湯の温度が低い
⇒配管の放熱などで、設定温度にならない場合があります。 →P.62

サーモスタット混合水栓で設定した温度のお湯が出ない
⇒リモコンの給湯温度を、サーモスタット混合水栓の設定温度より約10℃高くしないと、サーモスタット混合水栓の設定温度のお湯は出ません。 →P.62

浴そうのお湯が青く見える
⇒浴そうや光の色の加減によって青く見える場合があります。 →P.63

浴そうや洗面器に青い線が付く
⇒銅配管から溶出するわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して付くことがあります。 →P.63

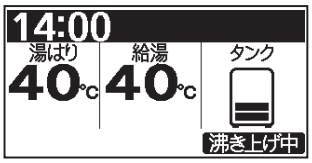
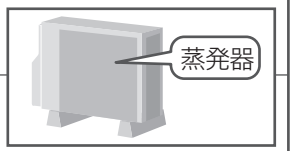
リモコンの表示画面が薄い、濃い、縦線が入る
⇒設置場所の明るさや温度などによって見にくくなる場合があります。 →P.63

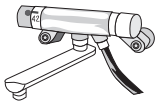
深夜時間帯終了時に残湯量目盛が5目盛表示されていない
⇒お湯の使用量が少ないときや、深夜時間帯にお湯を多く使用すると、5目盛表示されない場合があります。 →P.64

上記のお問い合わせ事例などに関する点検や取扱説明を弊社の修理窓口に依頼された場合は、保証期間内であっても、無償保証の対象外になります。

お困りのときは（つづき）

こんなときには、修理を依頼される前に確認を

	こんなときは	確認事項と処置方法
1 貯湯ユニット（タンク）	タンク排水管からお湯が出ている	沸き上げ中（リモコンに 沸き上げ中 または 沸き増し中 が表示されている）ではありませんか？ ⇒沸き上げ中である： 正常な動作です。沸き上げ中は、タンク内の水がお湯になるときに膨張した分を排水します。深夜時間帯での沸き上げでは、通常約 10L ～ 20L を排水します。 ⇒沸き上げ中でない：「逃し弁」の点検を行ってください。→P.42 
	タンク沸き増しを行うと、残湯量目盛が一気に増える またはすべて点灯する	正常な動作です。残湯量目盛は、45℃以上のお湯の量を表示するようになっています。 このため、タンクのお湯の温度が45℃に近いときにタンク沸き増しを行うと、短時間でタンクのお湯の温度が45℃を超えるため、残湯量目盛が一気に増えます。タンクの温度状態によっては、全点灯することがあります。
	貯湯ユニットの設置面が常に濡れている	貯湯ユニットからの水漏れのおそれがあります。タンク専用止水栓を閉じて、お買い上げの販売店、または修理窓口までご連絡ください。
2 ヒートポンプユニット	昼間時間帯に運転している	湯切れ防止が設定（リモコンに「湯切れ防止少量」または「湯切れ防止全量」が表示されている）されていませんか？ ⇒正常な動作です。設定されていると、残湯量目盛が全て点灯していてもタンクのお湯の減り具合により、自動的にヒートポンプを運転し、沸き上げを行います。→P.51
	リモコンに「沸き上げ中」または「沸き増し中」が表示されていないのに運転している	正常な動作です。冬季など外気温が低いとき、凍結防止のため、プロペラファンを単独で運転する場合や、自動的にヒートポンプを運転して、沸き上げを行なうことがあります。
	深夜時間帯になっても運転しない	正常な動作です。深夜時間帯終了時刻に合わせて沸き上がるように、沸き上げ（ヒートポンプ運転）開始時刻を調整する（ピークシフト機能）ためです。
	深夜時間帯終了時刻より早く運転が止まる	正常な動作です。タンクの残湯量が多い場合は、深夜時間帯終了時刻より早く、ヒートポンプ運転（沸き上げ）を終了することがあります。
	ヒートポンプ排水管から水が出る	正常な動作です。ヒートポンプ運転（沸き上げ）中は、空気中から熱を吸収するときに結露した水を排水します。
	底面から水が漏れている	ヒートポンプ排水管に折れ曲がり、つぶれ、先端の持ち上がりなどがあると、底面から水が漏れます。折れ曲がり、つぶれ、先端の持ち上がりをなくしてください。
		外気の温度や湿度によっては、底面に結露することがあり、この水が漏れることがあります。
	ヒートポンプユニットの外板や設置面が濡れている	外気の温度や湿度によっては、ヒートポンプユニットの外板に結露することがあります。また、この水が落ちて設置面が濡れることがあります。
	蒸発器に霜が付き白くなる	正常な現象です。冬季に運転すると、蒸発器（アルミ部分）に霜が付くことがあります。 
	運転、停止を繰り返す	正常な運転です。冬季に運転すると、蒸発器（アルミ部分）に霜が付くことがあり、この霜を取り除くための運転です。
	音がする	正常な動作です。ヒートポンプ運転（沸き上げや凍結防止運転）中は、お湯を沸かすためのコンプレッサーやファンの運転音がします。また外気の温度が低い冬季は、コンプレッサーやファンを高速運転するため運転音が大きくなる場合があります。 ご使用開始時の数日間は、運転開始直後にコンプレッサーの負荷を抑える運転を行うため、シューという冷媒の流れる音（冷媒音）が大きい場合があります。
	「不在時沸き上げ停止」中なのに運転する	正常な動作です。冬季など外気温が低いとき、凍結防止のため、自動的にヒートポンプを運転し、沸き上げを行います。
	蒸発器アルミフィンの変形	小さな変形は性能には影響ありません。そのままご使用いただいて問題ありません。

	こんなときは	確認事項と処置方法
3 給湯	お湯が出ない お湯の出が悪い	タンク専用止水栓が閉じていませんか？ ⇒タンク専用止水栓を開けてください。 →P.4
		断水していませんか？　水圧が低くありませんか？ ⇒断水が復帰するのを待ってください。（復帰後しばらくは水圧が低い場合があります）
		配管が凍結していませんか？ ⇒お買い上げの販売店または工事店へ連絡してください。
		混合水栓を開いてもなかなかお湯が出ないのは、給湯配管内にある残留水が先に出るためです。 ⇒残留水が出切るとお湯になりますので、少しお待ちください。
		給湯温度を50℃、55℃または60℃に設定し、混合水栓で水と混ぜると水量を増やせる場合があります。 混合水栓のタイプによっては、蛇口を全開にしてもお湯の出が悪い場合があります。 →P.21
		給水継手部ストレーナが詰まっている。 ⇒お買い上げの販売店または工事店へ連絡し、給水ストレーナの清掃を依頼してください。（有償です）
	設定した給湯温度のお湯が出ない	給湯温度設定の値は目安です。 お湯の温度は、配管の放熱によって低くなることがあります。 ⇒リモコンの給湯温度（「▲」ボタン）を高くしてください。 →P.22
		サーモスタット付き混合水栓からのお湯ではありませんか？ ⇒リモコンの給湯温度を、サーモスタット付き混合水栓の設定温度より約10℃高くしてください。約10℃高くしても変わらない場合は、混合水栓の故障のおそれがあります。 →P.21 
		タンク内のお湯の温度が低い（残湯量目盛が少ない、または表示されていない）と、リモコンの給湯温度のお湯になりません。 ⇒タンク内のお湯の温度が低くなるのは、お湯の使用量が多いためです。お湯を沸き上げる設定やお湯の使いかたなど、次のことを確認してください。
		沸き上げ設定が「おまかせ節約」「おまかせ小世帯」になっている。 ⇒「おまかせ多め」設定にしてください。 →P.50
		「不在時沸き上げ停止」である。 →P.32 ⇒「不在時沸き上げ停止」を取り消し、「タンク沸き増し」ボタンを押して、タンクにお湯を沸き上げてください。 →P.31
		昼間時間帯にいつもより多く、または深夜時間帯（沸き上げ運転中）に多くお湯を使った。 ⇒「タンク沸き増し」ボタンを押しタンクにお湯を沸き上げてください。 →P.31 ⇒お湯をたくさん使用する予定があるときは、前日に沸き上げ設定を「おまかせ多め」にするか、湯切れ防止を「全量」、または「来客時満タン沸き上げ」に設定しておいてください。 →P.50,51
		沸き上げ運転をしていないときに、タンク排水管からお湯が出ている。 ⇒「逃し弁」の点検を行ってください。 →P.42 ⇒タンク排水管からのお湯が止まらない場合は、お買い上げの販売店または工事店に連絡をしてください。
	お湯の温度が変化する	次のような使いかたや現象は、お湯の温度が変化します。異常ではありません。 ・途中で給湯の流量を変える ・給湯中の水道水圧の変化 ・混合水栓の湯側の流量が少ない給湯 ・浴室シャワーと台所給湯の同時使用 ・シャワーをいったん止め、しばらくしての再使用
	給湯しているときに が表示しない	混合水栓の湯側の流量が少ない、混合水栓の水側で使用した場合は表示しません。「 」の表示はタンク内のお湯を使用した時に表示します。
	給湯していないときに が表示している	他の場所で給湯している場合は表示します。異常ではありません。 どの蛇口も使用していなくても表示する場合は、給湯配管から水漏れをしている場合があります。お買い上げの販売店または工事店へ連絡してください。

次ページに続く

お困りのときは（つづき）

	こんなときは	確認事項と処置方法
3 給湯	お湯に油や臭いがある	お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。異常ではありません。 ⇒しばらくしても油や臭いが消えない場合は、タンクのお湯の入れ替え、配管材料のなどの確認が必要です。お買い上げの販売店または工事店に連絡をしてください。
	お湯が白く濁って見える	異常ではありません。水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに、細かい泡となって出る現象です。少し時間をおくと消えます。
4 ふろ	湯はりができない（「湯量お知らせ」を受けつけない） 湯はりが途中で止まる（「湯量お知らせ」を中止する）	タンクのお湯の量が少ない（残湯量目盛が3目盛ない）、またはお湯の温度が低いためです（残湯量目盛が3目盛以上ある）。 ⇒「タンク沸き増し」ボタンを押し、沸き上げを行ってから、再度「湯量お知らせ」ボタンを押して、湯はりを行ってください。 残湯量目盛は約45℃以上のお湯の量を表示しています。このため残湯量目盛が表示されていても、お湯の温度が45℃に近い場合は湯はり運転しなかったり、途中で中止することがあります。また、タンクのお湯の温度が、ふろ温度より5℃以上高くないと湯はりはできません。
	水で湯はりをする	湯はり温度の設定が「低温」になっていませんか？ ⇒適切な温度を設定してください。→P.23
	湯はりされたお湯の温度がぬるい、または熱い	湯はり温度の設定が低い、または高くありませんか？ 次回の湯はり温度が低い、または高くならないように、湯はり温度を確認・設定してください。
	湯はりされたお湯の湯量が少ない、または多い	湯はり湯量の設定が少ない、または多くありませんか？ ⇒湯量を多くするときは混合水栓（蛇口）を開いて、お湯を足してください。 ⇒湯量を少なくするときは、お湯をくみ出すか、排水してください。 次回の湯はり湯量が少ない、または多くならないように、湯はり湯量を確認・設定してください。
	湯はりされたお湯の湯量が少ない	湯量お知らせ運転中に湯はり以外の給湯をした場合、他に給湯した分だけ、湯はりする湯量が少なくなります。 ⇒湯量お知らせ運転中は他の混合水栓（蛇口）から給湯しないでください。
	浴そうのお湯が青く見える 浴そうや洗面用具に青い線が付く	お湯が青く見えるのは、浴そうや光の色の加減によるものです。異常ではありません。 青い線は、銅配管から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応したものです。異常ではありません。 ⇒放置すると落ちにくくなります。こまめに浴室用洗剤で落としてください。
5 リモコン	表示画面が消えている	200V電源ブレーカー、または漏電遮断器のスイッチが「OFF」になっていませんか？ ⇒「ON」にしてください。 再度「OFF」になったときは、「OFF」のままにして、お買い上げの販売店、または工事店にご連絡ください。
		停電していませんか？ ⇒停電の復帰を待ってください。→P.39 停電が復帰すると表示画面が表示されます。
	表示画面のバックライトが消える	バックライトは、約１分以上ボタン操作をしないと、節電のため自動的に消灯します。正常な動作です。 ⇒いずれかのボタンを押すと 再点灯しますが、バックライトだけを点灯させたいときは 戻る を押すか、リモコンの「メニュー」「表示」「バックライト設定」で点灯時間を再設定してください。
	表示画面が見にくい	表示画面は、リモコンの設置場所の明るさや温度などで変わります。 ⇒リモコンのコントラストの調整をしてください。→P.12
	音声ガイドが出ない	音声ガイドが「切」設定になっていませんか？ ⇒「しんせつ」または「標準」の設定にしてください。→P.55 ガイド・操作音量設定が「00」設定になっていませんか？ ⇒お好みの音量に設定にしてください。→P.55

次ページに続く

	こんなときは	確認事項と処置方法
5 リモコン	操作ボタンを押しても操作音が出ない	ガイド・操作音量設定が「00」設定になっていませんか？ ⇒お好みの音量に設定にしてください。 →P.55
	深夜時間帯終了時に、残湯量目盛が5目盛まで表示されていない	深夜時間帯の沸き上げ運転中に、お湯を多く使用しませんでしたか？ ⇒沸き上げ運転中にお湯を多く使用すると、深夜時間帯だけでは5目盛まで沸き上げできない場合があります。異常ではありません。 「湯切れ防止設定」が「少量」または「全量」で、このような場合は、深夜時間帯終了後も沸き上げを行います。
		お湯の使用量が少なく、お湯の沸き上げ量が少なくなっている。 ⇒お湯の使用量が少ない日が続くと、5目盛目まで沸き上げずに節約します。異常ではありません。
		「おまかせ小世帯」になっている。 ⇒「おまかせ小世帯」は沸き上げる湯量を少なくするため、5目盛まで沸き上げないことがあります。異常ではありません。
	沸き上げ設定をおすすめ設定に変更したが、お湯が足りなくなる、または余る	おすすめ設定は、昨日までの6日間の使用実績を基に表示しています。そのため、急に使用量が多くなった場合は、タンクのお湯が足りなくなり、急に使用量が少なくなった場合は余る場合があります。異常ではありません。 ⇒足りなくなった場合は、「タンク沸き増し」ボタンを押して、沸き上げてください。 →P.31
	シャワーを使用しているのに、シャワーアラーム画面が表示されない	シャワーアラームの設定が「しない」になっていませんか？ ⇒「する」の設定にしてください。 →P.28
		シャワーの勢いが弱くありませんか？　または節水シャワーヘッドを使用していませんか？ ⇒シャワーの流量を4L/分以上に増やしてください。 →P.29
		シャワーアラームの設定使用時間が長くないですか？ ⇒シャワーアラームの設定使用時間を短くしてください。 →P.28
	シャワーを使用していないのにシャワーアラーム画面が表示される	台所や洗面所などで、給湯を連続使用していませんか？ ⇒正常な動作です。シャワーを使用していなくても、ほかの蛇口からのお湯を連続で使用すると、シャワーアラーム画面が表示されます。 →P.28
6 太陽光発電利用	太陽光発電利用で沸かすお湯の量は設定できない	沸かすお湯の量は設定できません。 昼間に沸き上げ運転を行う時間のみの設定となります。 →P.52
	沸き上げをすべて太陽光発電利用のみで沸かしたい	できません。 深夜の沸き上げ運転を確保するために、太陽光発電利用は最大4時間までの設定となります。 →P.52
	太陽光発電利用で設定した時間よりも早く沸き上げ運転が完了する	設定した開始時刻から沸き上げ運転は開始します。 その時のタンク内のお湯の残湯が多い場合は、終了設定時刻よりも早く沸き上げが完了する場合があります。
	日立エコキュートアプリの太陽光発電利用沸き上げ(自動)を使用する場合の設定方法がわからない	設定方法は、下記の専用ページをご覧ください。 https://kadenfan.hitachi.co.jp/app/kyutou/series01/ ※ご利用の際は、通信費などの費用が掛かります。 ※内容は予告なく変更、中止することがあります。
7 無線LAN	無線LAN機能に接続、設定ができない	無線LAN機能への接続や設定についてお困りの場合は、別冊の「無線LAN接続ガイド」をご覧ください。

仕様

■仕様表（JIS C9220:2018に基づく表示）

			仕様	
システム	型式		BHP-ZN46YU	BHP-ZN37YU
	仕向地		一般地（（平成28年基準では4地域）以南、外気温-10℃まで対応）	
	適用電力制度		季節別時間帯別電灯型、　時間帯別電灯型（通電制御対応）	
	相数／定格電圧（定格周波数）		単相200V（50／60Hz）	
	最大電流		18A	17A
	沸き上げ温度範囲		約65℃～約90℃	
	年間給湯効率（JIS）※6		3.7	3.7
		区分名	E	
	冬期高温沸き上げ温度		90℃	
	着霜期高温沸き上げ温度		90℃	
貯湯ユニット	型式		BHP-TAZN46Y	BHP-TAZN37Y
	設置場所		屋外	
	タンク容量		460L	370L
	水側最高使用圧力		タンク側195kPa(減圧弁170kPa)	
	外形寸法		2,101mm（高） 650mm（幅） 730mm（奥行）	1,771mm（高） 650mm（幅） 730mm（奥行）
	質量（製品質量／満水時質量）		68kg／約528kg	58kg／約428kg
	消費電力	制御用	3W	
ヒートポンプユニット	型式		BHP-HAN60Y	BHP-HAN45Y
	外形寸法		720mm（高）×792（+117）mm（幅）×299（+62）mm（奥行）	
	質量		41kg	41kg
	中間期標準加熱能力／消費電力 ※2 ※3		6.0kW／1.45kW	4.5kW／1.02kW
	中間期標準運転電流 ※2 ※3		7.6A	5.5A
	冬期高温加熱能力／消費電力 ※1 ※2 ※4		6.0kW／2.00kW	4.5kW／1.50kW
	運転音（音響パワーレベル）※5（※3中間期／※4冬期高温）		56dB／58dB	52dB／56dB
	冷媒名および封入量		R744（CO_2）／0.71kg	R744（CO_2）／0.71kg
	設置可能最低外気温度 ※1		−10℃	
	設計圧力		高圧部 13.3MPa ／低圧部 8.0MPa	

製品の仕様の違いにより、型式の末尾に「E」がつくことがあります。

※1　低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2　沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
※3　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）16℃／12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃
※4　作動条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃
※5　運転音は、反響音の少ない無響音室で測定した数値です。実際に据え付けた状態での運転音は周囲環境により異なります。
※6　JIS C 9220 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。
　　年間給湯効率（JIS）＝1年間で使用する給湯に係わる熱量 ÷ 1年間に必要な消費電力量
　　なお、値は下記条件で算出した値であり、実際には地域条件、運転モードの設定やご使用条件等により変わります。
　　年間給湯効率（JIS）算出時の条件
　　・着霜期高温条件：外気温（乾球温度／湿球温度）2℃／1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃
　　・冬期給湯モード条件：外気温（乾球温度／湿球温度）7℃／6℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃（BHP-ZN46YU）
　　66℃（BHP-ZN37YU）
　　・着霜期給湯モード条件：外気温（乾球温度／湿球温度）2℃／1℃、水温5℃、沸き上げ温度65℃（BHP-ZN46YU）
　　66℃（BHP-ZN37YU）
　　・夜間消費電力量比率（JIS C9220 冬期給湯モード条件時）：80%（BHP-ZN46YU、BHP-ZN37YU）

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証とアフターサービス

保証書（添付）・保証期間

保証書は、必ず「お買い上げ日、お買い上げ販売店名（工事店名）」などの記入をお確かめのうえ、お買い上げ販売店（工事店）からお受け取りください。内容をよくお読みになり、大切に保存してください。
保証期間（お買い上げの日より）

保証期間	貯湯ユニット本体・ヒートポンプユニット本体	5年
	リモコン・無線LAN接続用アダプター・HEMS接続用アダプター	5年
	上記以外の別売品（脚カバー）	1年

保証期間中は保証書裏面に記載の規定に従って出張修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後10年です。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

製品のご相談や修理はお買い上げの販売店へ

販売店が不明な場合は下記窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

58～63ページ「お困りのときは」をご確認ください。
また日立家電品サポートページで、「よくあるご質問」や「使いかた動画」など各種情報をご覧いただけます。

「日立家電品サポートページ」はこちら 日立家電 サポート 検索

※下方の内容は予告なく変更させていただく場合がございます。
最新情報は、日立家電品サポートページをご確認ください。
なお異常があるときは、漏電遮断器のスイッチを「OFF」（または200Vブレーカーを「OFF」）にしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。（凍結のおそれがある場合は、「OFF」にしないでください。）
連絡先が不明の場合は右記の「弊社の修理窓口」へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

製品名	日立ヒートポンプ給湯機
型式	保証書に記載されています
お買い上げ日	年　月　日
お買い上げ店名	
異常の内容	できるだけ詳しく
お名前	
ご住所	付近の目印なども
お電話番号	
訪問ご希望日	

■ 保証期間中は
修理に際しましては保証書（別添）をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ
修理料金 = 技術料 + 部品代 + 出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

※施工上の不具合による故障および損傷が生じた場合、据付説明、取扱説明を依頼された場合は、保証期間内であっても、無償保証の対象外になります。

弊社の連絡先電話番号

商品に関するお問い合わせ

（0120）3121-19
（050）3155-0119（携帯電話）（有料）
（050）3135-2134（FAX）（有料）
受付時間　9:00～17:30（月～金）土曜・日曜・祝日・年末年始・夏季休暇など弊社休日は休ませていただきます。

※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

修理のご依頼

（0120）3121-68
（0570）0031-68（携帯電話）（有料）
（0570）2006-57（FAX）（有料）
受付時間　9：00～18：00（月～土）
9：00～17：00（日・祝日）

「Web修理受付」はこちら 日立家電　修理 Web 検索

- 通話内容の確認と応対品質向上のため、録音させていただきます。
- 予期せぬ障害などでお電話が切れてしまった際、折り返し電話を差し上げられるよう、発信者番号の通知をお願いします。「非通知」設定されているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。
- 営業時間外やお電話が繋がりにくい場合は、時間を変えてお掛け直しをお願いします。
- 修理ご依頼の前に、当社の修理対応方針につきまして、「修理ご利用規約」をご覧ください。

日立修理ご利用規約 検索

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報お取り扱いについて】
- 個人情報は当社の個人情報保護方針に則り適切に管理いたします。
- 当社の個人情報保護方針につきましては、https://corp.hitachi-gls.co.jp/utility/privacyをご覧ください。
※URLは変更する場合があります。日立の家電品ホームページにてご確認ください。
- 製品のサービスの提供、各種お問い合わせへの対応に利用させていただきます。また、アンケートをもとにした製品やサービスを向上させるための分析に利用させていただく場合があります。

保証とアフターサービス（つづき）

定期点検契約（有料）のおすすめ

このヒートポンプ給湯機を長期間安心してご使用いただくために、3～4年に1度、専門技術者による点検（有料）をおすすめします。
なお、給水用具（逆流防止装置）に関しては（公社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。
定期点検の契約については、お買い上げの販売店、または「サービスセンター」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは有料で交換します。
設置条件、使用条件、特殊環境によっては劣化しやすい消耗部品があり、定期的な保守・点検が必要です。
長期間（10 年程度）使用されている場合は、毎年「定期点検」をお受けください。ただし補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後 10 年となっており、部品によってはご用意できない場合がありますので、ご容赦願います。

定期点検の主な項目と内容

据付け状態	設置状態／配管接続部の水漏れ／配管などの保温状態／電気絶縁の点検
機能部品	電気部品（配線・導通・動作）／弁類（減圧弁・逃し弁など）の点検
清掃	タンク内（沈殿物）／給水継手部ストレーナ（目詰まり）の清掃

消耗部品

減圧弁／逃し弁／混合弁／電動弁／三方弁／パッキン類／センサー類／ゴムホース

（使用水質によっては 3 年程度で消耗する場合があります。）

愛情点検



長年ご使用のヒートポンプ給湯機の点検を！

ご使用の際こんな症状はありませんか？	●運転中以外に逃し弁から水が漏れる。 ●漏電遮断器のスイッチが自動的に「OFF」になる。 ●本体や配管から水が漏れる。 ●その他の異常や故障がある。	**ご使用中止**	●故障や事故防止のため、「電源ブレーカ」を切り、「タンク専用止水栓」を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

日立家電メンバーズクラブのご案内

日立家電メンバーズクラブのMy家電に製品をご登録(無料)いただくとスマートフォンやパソコンでお持ちの家電品を一覧管理でき、サポート情報や会員限定の特典などをご利用いただけます。

■My家電への製品登録

①コードを読み取る

●コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。
https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/

登録は
こちら

②画面の案内に従って家電品を登録

③保証書に記載してあるシステム型式でご登録ください。



■日立家電メンバーズクラブ会員限定のアフターサービス特典のご紹介

パーツショップ送料特典

付属品や別売品をパーツショップ (日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売) で商品価格総額 2,000 円（税込）以上お買い上げいただくと送料が無料になります。
※代引きの場合は、代引き手数料が別途かかります。

※上記の内容は予告なく変更する場合がございます。

●ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。
詳しくは、日立家電メンバーズクラブのホームページをご覧ください。

ソフトウェアライセンス

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれ当社および第三者の著作権が存在します。本製品には、当社が開発または作成したソフトウェアモジュールも含んでいますが、これらのソフトウェアモジュールおよびそれに付帯したドキュメント等には、当社の所有権および知的財産権が存在します。これらについては、著作権法その他の法律により保護されています。また、本製品は、オープンソースソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールが含まれています。当該ソフトウェアモジュールについては、別途著作権者その他の権利を有する者がおり、かつ、無償での使用許諾のため、現状のままでの提供であり、それらの著作権者は、適用法令の範囲内で一切保証(明示するもの、しないものを問いません)をしないものとされています。また、当社は、当該ソフトウェアモジュールおよびその使用に関して生じたいかなる損害(データ消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインタフェースの不適合化等も含まれます)についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。
当該ソフトウェアモジュールの使用条件などの詳細につきましては、下記ＵＲＬをご参照ください。当社以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を掲載いたします。
https://kadenfan.hitachi.co.jp/app/license6.html

また、当該ソフトウェアモジュールに関する入手方法、お問い合わせについては、以下のＵＲＬをご参照ください。
https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/inquiry/

お客様メモ

お買い上げ日、お買い上げ販売店(工事店)を記入しておいてください。 アフターサービスを依頼されるとき便利です。	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ販売店(工事店)	
	電話番号	

— MEMO —

— MEMO —

用語集

ふだん聞きなれない用語や混同しやすい用語を説明します。

電力契約番号

電力契約名称に対応した、リモコン設定用の日立独自の番号のこと

→P.45

沸き上げ

手動もしくは自動でヒートポンプユニットがお湯を沸かすこと

→P.50

タンク沸き増し

手動操作でヒートポンプユニットでお湯を沸かすこと

→P.31

湯切れ防止

タンクのお湯が減ると自動的にヒートポンプユニットがお湯を沸かすこと

→P.51

湯量お知らせ

設定した「湯量」を給湯すると、音声と画面表示でお知らせする機能のこと

→P.24

湯はり湯量設定

「湯量お知らせ」で給湯する湯量のこと

→P.23

2温度設定

通常の給湯温度と「湯量お知らせ」時の温度を別々に設定すること。

→P.23

給湯温度

台所や洗面所、浴室などの蛇口やシャワーから出るお湯の温度のこと

→P.22

湯はり温度

通常の給湯温度とは別に「湯量お知らせ」運転時のお湯の温度のこと

→P.23

混合水栓

お湯と水を混ぜて1つの蛇口から出せる水栓のこと

→P.21

残湯量

タンク内のお湯全部を給湯温度のお湯に換算したときの量のこと

→P.27

使用湯量

使ったお湯の量を給湯温度のお湯に換算したときの量のこと

→P.27

タンク専用止水栓

タンク内への水道水給水を止めるための栓のこと

→ P.4

タンク排水栓

タンク内のお湯（水）を排水するための栓のこと

→ P.3

タンク排水管

タンク内のお湯（水）の出口のこと

→ P.4

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋 2-15-12

お問合せ先：「修理に関するご相談窓口」0120-3121-68、携帯0570-0031-68
詳しくは「保証とアフターサービス」のページをご覧ください。

BHP-ZN46YU Ⓐ
BHP-ZN37YU